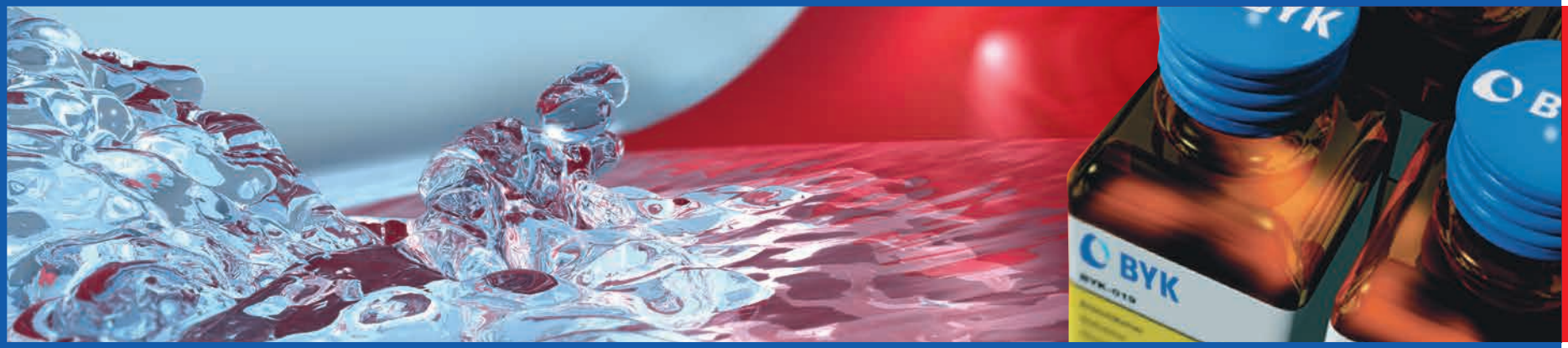
BYK

Product Guide L-GJ1



BYK コーティング・インキ用添加剤

- 湿潤分散剤
- 表面調整剤
- レベリング剤　・ナノ粒子ディスパージョン　・乾き防止剤
- 層状無機添加剤　・液状レオロジーコントロール剤
- 消泡剤　・密着性付与剤
- 粉体塗料用添加剤　・粉体塗料用ワックス添加剤
- 機能性ワックス添加剤

2020.02（第 47 版）

A member of ALTANA

ビックケミー・ジャパン株式会社

湿潤分散剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

溶剤型用

＊印　新製品

品名	主成分	主溶剤	不揮発分 %	酸価 mgKOH/g	アミン価 mgKOH/g	特徴	顔料に対する標準添加量% 酸化チタン	顔料に対する標準添加量% 有機顔料	適用樹脂系 弱溶剤系	適用樹脂系 アクリル	適用樹脂系 ウレタン	適用樹脂系 エポキシ	適用樹脂系 ポリエステル	適用樹脂系 アルキッド	適用樹脂系 フッ素・シリコン	適用樹脂系 UV系	備考 TXフリー※1	備考 PRTR法対象外
ANTI-TERRA-U/U 100	不飽和ポリアミノアマイドと低分子量ポリエステル酸の塩	キシレン、イソブタノール / –	50/>95	24/50	19/35	工業用塗料・建築塗料用に最適。有機ベントナイトペーストに有効。ANTI-TERRA-U 100 は ANTI-TERRA-U の 100%品。	0.5-1/0.2-0.5	1-5	●	●	●	●	●	●	●	●	–/●	–/●
ANTI-TERRA-204	ポリアミノアマイドのポリカルボン酸塩	PM、高沸点芳香族	52	41	37	たれ止め、顔料の沈降防止に有効。低極性樹脂系に有効。重金属を含有しない新規防錆顔料に最適。	0.5-1	–	●	●	●	●	●	●			–	–
DISPERBYK-102	酸性基を有するコポリマー	–	99	101	–	ベースおよび白塗料での分散時添加、あるいはカララント・原色混合時や後添加により、色受容性と色浮き・色分れを向上。	1-3	–	●	●	●	●	●	●			●	●
DISPERBYK-103	顔料に親和性のある共重合物	MPA	40	–	–	つや消し剤用に最適。フロー性、貯蔵安定性が良好で高顔料濃度のペーストができる。	2-4	–		●	●	●	●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-106	酸性基を有するポリマー塩	–	91	132	74	低～中極性の塗料系で酸化鉄系顔料および酸化チタンの分散に有効。	1-3	10-30	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-108	水酸基含有カルボン酸エステル	–	>97	–	71	低極性樹脂系に適応。酸化チタン、体質顔料、有機顔料の分散に有効。弱溶剤をはじめとする建築塗料向けピグメントコンセントレートに最適。	0.8-1.5	5-8	●	●	●	●	●	●			●	●
DISPERBYK-109	アルキロールアミノアマイド	–	>99.5	–	140	無極性から中極性のベース塗料のカララント・原色混合時や後添加で色受容性が向上する。長油アルキッドや熱可塑性アクリル系で無機顔料の分散にも適す。	1-2	–	●	●			●	●	●		●	●
DISPERBYK-110/111	酸基を含む共重合物	MPA、高沸点芳香族 / –	52/95	53/129	–	酸化チタンを始め無機顔料（特にシリカ）の湿潤分散に著効。光沢の向上、静電塗装時のヘイズを減少、ミルベースの粘度低下に著効。	2-4/1-3	–		●	●	●	●	●	●	●	–/●	–/●
DISPERBYK-118*	顔料親和性基を有する直鎖ポリマー	MPA	80	36	–	酸性、中性および塩基性酸化チタン、無機顔料、透明酸化鉄、フィラーおよびエフェクトピグメントの分散安定化に適する。金属素地への密着性に影響しない。	1-2.5	–	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-140	酸性ポリマーのアルキルアンモニウム塩	MPA	52	73	76	硝化綿を含む幅広い樹脂系に適用。有機顔料、無機顔料に有効で、光沢向上、粘度低下に著効。	3-4	30-80	●	●	●		●	●	●		●	●
DISPERBYK-142	顔料に親和性のある共重合物のリン酸エステル塩	MPA	60	46	43	あらゆる汎用のバインダーに対して優れた相溶性を示す。特に、エポキシ系には非常に優れた相溶性を示す。建築塗料などの弱溶剤系でも有効。	–	25-70	●	●	●	●	●	●	●		●	●
DISPERBYK-145	顔料に親和性のある共重合物のリン酸エステル塩	–	>95	76	71	幅広い樹脂と相溶性がある。建築塗料などの弱溶剤･低極性での分散効果大。ミルベースの粘度低下に有効。無溶剤品。後添加も可能。	1-3	10-25	●	●	●	●	●	●	●		●	●
DISPERBYK-161	顔料に親和性のあるブロック共重合物	MPA 酢酸ブチル	30	–	11	高級有機顔料の分散に有効。立体障害により顔料の再凝集を防止し、鮮映性、着色力の向上、仕上がり塗料の色相を安定化する。	5-6	30-90		●	●		●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-162/163	顔料に親和性のあるブロック共重合物	キシレン、MPA 酢酸ブチル	38/45	–	13/10	木工塗料、建築塗料およびピグメントコンセントレートなどに用いられる。DISPERBYK-163 は 162 よりやや分子量低く、より広い相溶性を示す。	5-6/4-5	25-85/30-60	●	●	●		●	●	●	●	–	–
DISPERBYK-164	顔料に親和性のあるブロック共重合物	酢酸ブチル	60	–	18	一般工業用塗料、建築塗料およびピグメントコンセントレートなどに適用。	3-4	20-35	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-167	顔料に親和性のあるブロック共重合物	MPA 酢酸ブチル	52	–	13	DISPERBYK-163 の芳香族フリー品。性能は DISPERBYK-163 と同じ。	4-5	30-60	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-168	顔料に親和性のあるブロック共重合物	ジカルボン酸エステル	30	–	11	無溶剤 UV 系に最適。顔料の湿潤性に優れ、つや消し剤、フィラーの添加時間および分散時間を短縮する。粘度低下能が高い。	5-6	30-90								●	●	●
DISPERBYK-170	顔料に親和性のあるブロック共重合物	MPA 酢酸ブチル	30	11	–	溶剤型コイルコーティングおよび工業向けの湿潤分散剤。酸触媒併用系に最適。	5-6	35-70		●			●	●		●	●	●
DISPERBYK-174	顔料に親和性のあるブロック共重合物	キシレン、MPA 酢酸ブチル	52.5	22	–	酸触媒併用系に最適。ミルベースの粘度を低下。特に顔料濃度の高いピグメントコンセントレートに有効。	3-5	35-60		●			●	●		●	–	–
DISPERBYK-180	酸基を含む共重合物のアルキロールアンモニウム塩	–	81	94	94	酸化チタンを始め無機顔料に著効。光沢の向上、ミルベースの粘度低下に有効。酸性、塩基性の顔料共に有効。無溶剤品。有効成分 100%。	1.5-2.5	–	●	●	●		●	●	●		●	●
DISPERBYK-182	顔料に親和性のあるブロック共重合物	MPA、DPM、酢酸ブチル	43	–	13	溶剤系から水系まで幅広い塗料系で使用される。DISPERBYK-108 との併用で建築塗料、一般工業用塗料用ピグメントコンセントレートに有効。	4-5	30-60		●	●		●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-184	顔料に親和性のあるブロック共重合物	プロピレングリコール、DPM	52	–	15	DISPERBYK-182 の高極性、低分子量タイプ。光輝材の分散にも良好。	4-6	20-45		●	●		●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-185	顔料に親和性のあるブロック共重合物	–	>90	–	17	DISPERBYK-160 ファミリーの高極性タイプ。有効成分 52%、ポリエチレングリコール 48% 含有	3-6	20-45		●	●		●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2000	変性アクリル系ブロック共重合物	MPA ブチルセロソルブ	40	–	4	CAB を含有するベースコート及びあらゆる上塗塗料に最適。あらゆる顔料に適し、特に高級有機顔料でミルベースの粘度低下に著効。ナノ分散安定性に優れる。	5	20-70		●	●		●				●	●

＊印　新製品

DISPERBYK-2001	変性アクリル系ブロック共重合物	MPA、PM ブチルセロソルブ	46	19	29	CAB を含有するベースコート及びあらゆる上塗塗料に最適。 DISPERBYK-2000 よりミルベースの粘度低下能大。ナノ分散安定性に優れる。	5	15-60		●	●		●				●	●
DISPERBYK-2008	変性アクリル系ブロック共重合物	PPG600	100	–	66	ハイソリッドおよび無溶剤 UV 塗料用シリカ系つや消し剤の分散ペーストに最適。つや消し剤に対して 3～15％の添加で、高濃度かつ低粘度で安定なペーストが作製可能。樹脂・反応性希釈剤との相溶性良好。有効成分 60%	—	—		●	●		●			●	●	●
DISPERBYK-2009	変性アクリル系ブロック共重合物	MPA ブチルセロソルブ	43.8	–	4	シリカ系つや消し剤の分散ペーストに最適。つや消し剤に対して 15 ～ 25％ の添加で、高濃度かつ低粘度のペーストが作製可能。	—	—		●	●		●			●	●	●
DISPERBYK-2013*	顔料親和性基を有する構造制御されたコポリマー	—	＞98.5	8	18	有効成分 100％ の湿潤分散剤で、100％ または溶剤型の UV インキに最適。特に有機顔料およびカーボンブラックの分散に有効。	—	15-25	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2022	変性アクリル系ブロック共重合物	MPA	60	–	61	一般工業用塗料、およびピグメントコンセントレートに最適。広い相溶性を持ち、分散樹脂の有無にかかわらず優れた分散性を示す。金属素地への密着阻害がない。	1-3	10-35	●	●	●		●	●	●		●	●
DISPERBYK-2023*	顔料親和性基を有する構造制御されたコポリマー	酢酸エチル	60	4	7	TPU、TPA、NC およびビニルコポリマーをベースとする液状印刷インキに適した溶剤型湿潤分散剤。高極性のアルコールを含有する系からエステル類またはトルエンを含有する低極性の系まで使用することができる。	—	4-25	●	●	●		●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2025	変性アクリル系ブロック共重合物	MPA	70	38	37	工業用、コイルコーティング、木工塗料に最適。酸触媒および酸硬化系で硬化性に悪影響がない。優れた耐熱黄変性を有する。艶消しシリカの分散にも優れる。	1.5-2.2	20-40	●	●	●		●	●	●		●	●
DISPERBYK-2026*	顔料親和性基を有する構造制御されたコポリマー	MPA	60	34	39	工業用、コイルコーティング、木工塗料に最適。原色ピグメントコンセントレートだけでなく共分散にも有効。酸触媒および酸硬化系で硬化性に悪影響がない。優れた耐熱黄変性を有する。	1.3-2.5	25-42	●	●	●		●	●	●		●	●
DISPERBYK-2050	顔料に親和性のあるアクリル系共重合物	MPA	52	–	30	プラスチック用塗料をはじめとする工業塗料用の分散に最適。汎用のカララント・原色との相溶性も良好。樹脂なしピグメントコンセントレートに最適。	3-5	20-60	●	●	●		●	●	●		●	●
DISPERBYK-2055*	顔料親和性基を有するコポリマー	—	100	–	40	低極性の溶剤型から水系配合まで幅広い相溶性を持つ無溶剤の湿潤分散剤。コストパフォーマンスにも優れる。複数の顔料での共分散にも適する。	2-3	10-35	●		●	●	●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2096	極性酸エステルと高分子アルコールの組み合わせ	—	99	40	–	ユニバーサルカララントを低極性塗料に適用する際の、色受容性を向上させるプロセス添加剤。湿潤分散剤としても有効。カーボンに対しては 10-30%、無機顔料に対しては 5-15%添加。	1-3	10-20	●	●	●		●	●	●		●	●
DISPERBYK-2150	顔料に親和性のあるブロック共重合物	MPA	52	–	57	ピグメントコンセントレートに最適。 ミルベースの粘度が大幅に低下でき、分散ペーストの顔料添加量アップが可能。	3-5	30-60	●	●	●		●	●	●		●	●
DISPERBYK-2152	超分岐ポリエステル	—	＞99	–	–	エポキシ樹脂を含有するピグメントコンセントレート用湿潤分散剤。エポキシ塗料の色浮き・色分かれを防止し、優れた貯蔵性を示す。酸触媒系にも適用可。	1-3	20-45		●	●	●	●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2155	顔料に親和性のあるブロック共重合物	—	＞99	–	48	幅広い相溶性を持つ無溶剤の湿潤分散剤。自動車用塗料 , 一般工業用塗料に最適。	1-3	10-35	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2157*	アミン系顔料親和性基を有するブロックコポリマー	—	＞100	＜7	35	無極性の湿潤分散剤で脂肪酸エステル類またはパラフィン系低極性インクジェットインキに最適。有機および無機顔料を安定化させる。ミルベース粘度が大幅に低下するので、ピグメントコンセントレートの顔料濃度を高めることができる。	2-10	10-60	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2158*	顔料親和性基を有する溶液	DPGDA	—	–	13	未処理および表面処理シリカ系艶消し剤の分散安定化に非常に効果的。艶消しシリカに対して 4 ～ 18%添加する。粘度が大幅に低下し、チキソトロピー性を最小限に抑えることで艶消し剤の配合量を大幅に増加させることができる。また 艶消し剤の配向性が向上する。	—	—								●	●	●
DISPERBYK-2159*	顔料親和性を有するコポリマーの溶液	MPA	60%	–	13	DISPERBYK-2158 の溶剤変更品。UV 系以外の溶剤型塗料にも適用できる。艶消しシリカに対して 4 ～ 18% 添加する。	—	—		●	●	●	●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2163	顔料に親和性のあるブロック共重合物	キシレン、MPA 酢酸ブチル	45	–	10	木工塗料、建築塗料およびピグメントコンセントレートなどに用いられる。幅広い相溶性を示す。弱溶剤系塗料に推奨。	4-5	30-60	●	●	●	●	●	●	●	●	–	–
DISPERBYK-2164	顔料に親和性のあるブロック共重合物	酢酸ブチル、 MPA	60	–	14	一般工業用塗料、建築塗料およびピグメントコンセントレートなどに適用。弱溶剤系塗料に推奨。	3-4	20-35	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2200*	顔料親和性基を有する高分子量コポリマー	—	100	–	–	溶剤を含まない、ペレット状の湿潤分散剤。フタロシアニン顔料およびカーボンブラックの分散に最適。中～高極性の系に相溶する。	—	15-30		●	●	●	●	●	●		●	●
BYK-P 104/P 104 S	不飽和ポリカルボン酸ポリマー/不飽和ポリカルボン酸ポリマーと相溶性のよいポリシロキサン	キシレン、ジイソブチルケトン	50/50	180/150	–	酸化チタンと有色顔料混合系での色浮き・色分れ防止に有効。 ハードケーキを防止。重金属を含有しない新規防錆顔料に最適。後添加にも有効。	0.5-2.5	10-20		●	●	●	●	●	●		–	–
BYK-P 105	不飽和ポリカルボン酸ポリマー	—	98.5	365	–	BYK-P104 の無溶剤品。酸化チタンと有色顔料混合系での色浮き・色分れ防止に有効。ハードケーキを防止。	0.5-1.5	5-10		●	●	●	●	●	●		●	●
BYK-9076	高分子共重合体のアルキルアンモニウム塩	—	96	38	44	酸性及び中性のカーボンブラックに有効。粘度を低下させ、ニュートニアンフローが得られる。カーボンに 15 － 50%添加。	1-3	10-25		●	●	●	●	●			●	●
BYK-9077	顔料親和性基を有する高分子共重合体	—	98	–	48	カーボンブラックに有効。粘度を低下させ、ニュートニアンフローが得られる。カーボンに 15 － 50%添加。	1-3	10-25	●	●	●	●	●	●			●	●
BYK-220 S	不飽和酸性ポリカルボン酸ポリエステルとポリシロキサン	高沸点芳香族	52	100	–	有機顔料、無機顔料など全ての顔料に有効。光沢を向上、色分かれを防止、ミルベースの粘度低減化が可能	1-3	8-16	●	●	●	●	●	●	●		–	–

MPA ： メトキシプロピルアセテート　　DPM ： ジプロピレングリコールモノメチルエーテル　　PM ： プロピレングリコールモノメチルエーテル　　DPGDA ： ジプロピレングリコールジアクリレート

（注） この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、 個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。 なお、 一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。

2020.02（第 47 版）

湿潤分散剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

水系用

* 印　新製品

品名	主成分	主溶剤	不揮発分 %	酸価 mgKOH/g	アミン価 mgKOH/g	特徴	顔料に対する標準添加量% 酸化チタン	顔料に対する標準添加量% 有機顔料	適用 水溶性系	適用 ハイブリッド系	適用 エマルション	備考 TXフリー※1	備考 PRTR法対象外
ANTI-TERRA-250	高分子量酸性ポリマーのアルキロールアンモニウム塩	水	70	46	41	水系塗料用コントロール凝集タイプ。無機顔料および体質顔料の沈降防止、ハードケーキの防止に有効。色受容性を向上し、良好なフローおよびレベリング性を示す。	1.5-3	–	●	●	●	●	●
DISPERBYK-102	酸性基を有するコポリマー	–	99	101	–	酸化チタンおよび無機顔料の分散に有効。ベースおよび白塗料での分散時添加、あるいはカララント・原色混合時や後添加（0.5-2%）により、色受容性と色浮き・色分れを向上。	1-3	–	●	●		●	●
DISPERBYK-180	酸基を含む共重合物のアルキロールアンモニウム塩	–	81	94	94	酸化チタン、無機顔料に著効。ミルベースの粘度を低下し、塗料の低 VOC 化が可能。酸性、塩基性の顔料共に有効。無溶剤品。溶剤系、無溶剤系にも適用。	1.5-2.5	–	●	●		●	●
DISPERBYK-184	顔料に親和性のあるブロック共重合物	プロピレングリコール、DPM	52	–	15	DISPERBYK-160 ファミリーの水系用。特に有機顔料の分散安定に最適。 無機顔料には DISPERBYK-180 を推奨。	4-6	20-45	●	●	●	●	●
DISPERBYK-185	顔料に親和性のあるブロック共重合物	–	>90	–	17	エマルション塗料、溶剤型建築塗料に用いられるユニバーサルティンティングペーストに最適。 有効成分 52%。ポリエチレングリコール 48%含有。	3-6	20-45	●	●	●	●	●
DISPERBYK-187	多官能ポリマーのアルキロールアンモニウム塩	プロピレングリコール、PM	70	35	35	エマルション塗料の貯蔵安定性の向上。ティンティングでは色受容性、着色力が向上。 低臭気。	1.5-2.5	10-25	●	●	●	●	●
DISPERBYK-190	顔料に親和性のあるブロック共重合物	水	40	10	–	分散樹脂、共溶剤を含まないピグメントコンセントレートに著効。貯蔵安定性に優れたピグメントコンセントレートが設計できる。通常の湿潤分散剤としても有効。	10-12	30-75	●	●	●	●	●
DISPERBYK-191	顔料に親和性のある共重合物	–	98	30	20	塗料、ピグメントコンセントレートなど幅広い用途に適用。分散樹脂、共溶剤の有無に関わらず分散可能。	4-7	19-50	●	●	●	●	●
DISPERBYK-192	顔料に親和性のある共重合物、ノニオン系	–	>98	–	–	アルミフレーク、マイカに有効。安定なエフェクトピグメント（高輝材）ペーストを作製できる。 印刷インキにも有効。	4-7	15-30	●	●	●	●	●
DISPERBYK-193	顔料に親和性のある共重合物、ノニオン系	水	40	–	–	分散樹脂を含むピグメントコンセントレート、および印刷インキに最適。粘度を大幅に低下し、ピグメントコンセントレートの相溶性を向上してレットダウン時の添加ショックを改善する。	1-3	4-6	●	●	●	●	●
DISPERBYK-194 N	顔料に親和性のある共重合物	水	57	75	–	耐水性に優れた分散剤で分散樹脂、共溶剤を含まないピグメントコンセントレートに著効。貯蔵安定性に優れたピグメントコンセントレートが設計できる。特に 2 液のウレタン･エポキシ樹脂系で優れた分散性を示す。	7-13	30-90	●	●	●	●	●
DISPERBYK-199	顔料親和性基を有するコポリマー	水	40	–	–	水系塗料用高分子タイプで、各種樹脂に優れた相溶性を示す。有機･無機顔料の分散安定性および脱凝集性に優れ、コストパフォーマンスに優れたピグメントコンセントレートの設計が可能。高い光沢と調色安定性が得られる。	2.5-7.5	37-100	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2010	コントロール重合のアクリル系共重合物	水	40	20	20	ミルベースの粘度を大幅に下げ、高い着色力、透明性、高隠ぺい性が得られる。 塗膜の耐水性に影響を与えない。分散は水、DISPERBYK-2010、顔料のスラリー法を推奨。	10-12	30-75	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2012	コントロール重合のアクリル系共重合物	水	40	7	7	有機顔料および漆黒性のカーボンブラックの分散に最適。樹脂あり / なし双方の系の顔料ペーストに有効。 スラリー分散ではアミン、ならびに共溶剤、増粘剤、界面活性剤などとの併用が可能。	4-10	50-100	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2013*	顔料親和性基を有する構造制御されたコポリマー	–	>98.5	8	18	有効成分 100% の湿潤分散剤で、UV 硬化型の水系インキに最適。特に有機顔料およびカーボンブラックの分散に有効。	–	15-25	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2015	コントロール重合のアクリル系共重合物	水	40	10	–	有機・無機顔料の分散安定性および脱凝集性に優れ、高い光沢と調色安定性が得られる。ミルベースの粘度を大幅に低減し、分散樹脂、共溶剤を含まないピグメントコンセントレートにも最適。	2.5-7.5	30-75	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2055*	顔料親和性基を有するコポリマー	–	100	–	40	低極性の溶剤型から水系配合まで幅広い相溶性を持つ無溶剤の湿潤分散剤。コストパフォーマンスにも優れる。複数の顔料での共分散にも適する。	2-3	10-35	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2060*	顔料親和性基を有するコポリマー	水	>95	5	–	水系および溶剤型建築塗料の着色に適した、グリコールを含有する水系無機顔料コンセントレート用湿潤分散剤で、特に、エフェクトピグメントスラリーに最適。カーボンブラックの分散にも有効。	1-3	–	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2061*	顔料親和性基を有するブロックコポリマー	–	100	–	3	水系および溶剤型建築塗料の着色に適した、グリコールを含有する水系有機顔料コンセントレート用 VOC フリー湿潤分散剤。カーボンブラックの分散にも有効。	–	10-40	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2081*	顔料親和性基を有するコポリマー	水	45	–	–	酸化チタンおよび無機顔料の分散に有効。疎水性を有し塗膜の耐水性、防食性および耐汚染性に悪影響がない。 特に水系木工塗料、水系防食プライマーおよび金属への直接塗装系に最適。耐水性の求められる用途に推奨。	3-6	–	●	●	●	●	●
DISPERBYK-2096	極性酸エステルと高分子アルコールの組み合わせ	–	99	40	–	ユニバーサルカララントを低極性塗料に適用する際の、色受容性を向上させるプロセス添加剤。低極性塗料の湿潤分散剤としても有効。カーボンに対しては 10-30%、無機顔料に対しては 5-15%添加。	1-3	10-20	●	●	●	●	●
BYK-154	アクリル系共重合物のアンモニウム塩	水	42	–	–	エマルション塗料用分散剤。無機顔料には単独で、有機顔料には DISPERBYK-187 との併用で有効。	1.5-2	5-10			●	●	●

DPM ： ジプロピレングリコールモノメチルエーテル　　PM ： プロピレングリコールモノメチルエーテル

（注）この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。なお、一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。

表面調整剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

シリコン系

＊印　新製品

品名	主成分	主溶剤	不揮発分 %	特徴	標準添加量%	表面張力低下能	適用系		付与される機能						備考	
							水系	溶剤無溶剤	下地への濡れ性	ベナードセルの防止	レベリングの向上	スリップ性	スリキズ防止	消泡性脱泡性	TX フリー ※ 1	PRTR 法対象外
BYK-300	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	キシレン イソブタノール	52	全ての溶剤型コーティング剤に使用できる標準的な表面調整剤	0.1-0.3	中	−	●	○	○	○	○			−	−
BYK-302	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	−	>95	BYK-300 の無溶剤品。全ての溶剤型・水系コーティング剤に使用できる標準的な表面調整剤。	0.025-0.2	中	●	●	○	○	○	○			○	○
BYK-306	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	キシレン フェニルグリコール	12.5	表面張力低下能力の非常に高い表面調整剤。ハジキを防止する。	0.1-0.5	高	−	●	◎	○	○	◎	◎		−	−
BYK-307	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	−	>97	BYK-306 に近い特性があり、溶剤を含まない。溶剤混入の好ましくない系、溶剤種に制限のある系に最適。	0.01-0.15	高	●	●	◎	○	○	◎	◎		○	○
BYK-310	ポリエステル変性ポリジメチルシロキサン	キシレン	25	250℃までの熱安定性を示す表面張力低下能力の高い表面調整剤。ハジキを防止する。	0.05-0.3	高	−	●	◎	○	○	◎	◎		−	−
BYK-313	ポリエステル変性ポリジメチルシロキサン	MPA	15	熱安定性を示す表面張力低下能力の高い表面調整剤。スリップを向上し、ハジキを防止する。BYK-310 の HAPS フリー品。	0.05-0.5	高	−	●	◎	○	○	◎	◎		○	○
BYK-315 N	ポリエステル変性ポリメチルアルキルシロキサン	MPA フェノキシエタノール	25	熱安定性のある表面調整剤。クリアーに使用の際で、塗膜の水浸漬試験後に白化の悪影響なし。	0.05-0.6	低	−	●	○	○	◎	○		○	−	○
BYK-320	ポリエーテル変性ポリメチルアルキルシロキサン	ミネラルスピリット MPA	52	消泡性のある表面調整剤。高極性樹脂系で消泡効果あり。ハジキ防止に適度な効果あり。自動車塗料に使用してもミミズ（ワイプ跡）の問題なし。	0.05-0.6	低	−	●	○	○	◎			○	−	−
BYK-322	アラルキル変性ポリメチルアルキルシロキサン	−	>98	250℃までの熱安定性を有する。消泡性あり。レベリング性良好。	0.01-0.4	低	−	●	○	○	◎			○	○	○
BYK-323	アラルキル変性ポリメチルアルキルシロキサン	−	>96	250℃までの熱安定性を有する。木工塗料でツヤ消し剤の配向性、一般工業用塗料でメタリックの配向性を向上する。消泡性あり。	0.01-0.4	中	−	●	○	○	○	○	○	○	○	○
BYK-325 N	ポリエーテル変性ポリメチルアルキルシロキサン	MPA モノフェニルグリコール	52	BYK-320 と同様な効果あり。BYK-320 より極性が高く、クリアーに使用でも塗膜の透明性を損なわない。	0.05-0.6	低	●	●	○	○	◎				−	○
BYK-326*	ポリエーテル変性ポリメチルアルキルシロキサン	−	>96	水系、溶剤系、問わず優れたレベリング性を示し塗膜の透明性に影響しない。わずかに表面張力を低下し程よいスリップ性を付与する. 消泡効果あり。	0.05-0.5	低	●	●	○	○	◎	○	○	○	○	○
BYK-327*	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	−	>99	溶剤系、無溶剤系、UV および水性系用。 床用塗料に消泡効果あり。わずかに表面張力を低下させ基材の濡れ性、レベリング、スリップ性を向上させる。ポリアスパラギン酸、エポキシおよびポリウレタンなどの床用塗料においては、消泡効果を有する。	0.05-0.5	低	●	●	○	○	◎	○	○	○	○	○
BYK-330	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	MPA	51	異物混入によるハジキ防止や熱風による風紋防止に有効。表面張力を強力に低下させる。	0.1-0.5	高	−	●	◎	○	○	◎	◎		○	○
BYK-331	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	−	>98	比較的活性度の低い表面調整剤。ハジキを防止。塗膜の伸びに悪影響しない。樹脂との相溶性が高く、溶剤型、水系、無溶剤型に最適。	0.025-0.2	中	●	●	○	○	○	○	○		○	○
BYK-333	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	−	>97	高いハジキ防止効果がある樹脂との相溶性が高く、溶剤型、水系、無溶剤型に最適。	0.05-0.3	高	●	●	◎	○	○	◎	◎		−	○
BYK-342	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	DPM	52.5	塗料の表面張力を大幅に低下して下地への濡れ性を向上し、ハジキを防止する。	0.1-0.3	高	●	●	◎	○	○	◎	◎		○	○
BYK-345/346	ポリエーテル変性シロキサン	− /DPM	87.5/45	共溶剤含有量の少ない系での下地への濡れ性とレベリング性を大幅に向上、泡を安定化しない。リコート性に優れる。有効成分 100% /52%。	0.05-0.5/ 0.1-1.0	高	●	−	◎	○	◎				○/○	○/○
BYK-347	ポリエーテル変性シロキサン	−	85	界面張力を大きく低下させるので、下地への濡れ性が向上。また、フロー性、レベリング性および塗膜のリコート性に悪影響が少ない。	0.05-0.5	高	●	−	◎	○	◎				○	○
BYK-348	ポリエーテル変性シロキサン	−	>96	BYK-346 と同タイプであるがより親水性で低 VOC の系に最適。有効成分 100%。	0.05-0.5	高	●	−	◎	○	◎				○	○
BYK-349	ポリエーテル変性シロキサン	−	>94	界面張力を大きく低下させるので、下地への濡れ性が向上。また、フロー性、レベリング性および塗膜のリコート性に悪影響が少ない。	0.05-0.5	高	●	−	◎	○	◎				○	○
BYK-370	ポリエステル変性水酸基含有ポリジメチルシロキサン	キシレン	25	-OH 基を持つ反応性シリコン。2 液ウレタン , メラミン硬化系 , 自己架橋型アクリル、エポキシ系と反応可能。スリップ性、汚れ防止性の持続性が高い。	0.1-5.0	高	−	●	◎	○	○	◎	◎		−	−
BYK-375	ポリエーテルエステル変性水酸基含有ポリジメチルシロキサン	DPM	25	-OH 基を持つ反応性ポリシロキサン。BYK-370 よりも活性が高い。	0.1-2.0	高	●	●	◎	○	○	◎	◎		○	○
BYK-377	ポリエーテル変性水酸基含有ポリジメチルシロキサン	−	>96	UV 系でレベリング性、下地への濡れ性、セロテープ離型性、スリップ性を付与	0.05-1.0	高	−	●	◎	○	○	○	○		○	○
BYK-378	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	−	>96	表面張力低下能が非常に高い表面調整剤。優れたスリップ性を付与する。泡を安定化しにくい。塗膜の透明性や光沢に悪影響なし。	0.01-0.3	高	●	●	◎	○	○	◎	○		○	○
BYK-3450*	ポリエーテル変性シロキサン	−	100	表面張力を大幅に低下させるシリコン界面活性剤。PE,PP 基材のような非極性の基材への濡れを改善しレベリングを向上する。スリップ性は付与しない。 水性印刷インキおよびオーバープリントワニス、インクジェットインキ、水性コーティング、接着剤に適する	0.1-1.0	高	●	−	◎	○	◎				○	○
BYK-3451*	ポリエーテル変性シロキサン	−	100	表面張力を大幅に低下させるシリコン界面活性剤。PE,PP 基材のような非極性の基材への濡れを改善しレベリングを向上する。スリップ性は付与しない。 水性印刷インキおよびオーバープリントワニス、インクジェットインキ、水性コーティング、接着剤に適する	0.1-1.0	高	●	−	◎	○	◎				○	○
BYK-3455	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	−	>94	界面張力を大きく低下させ、下地への濡れ性およびフロー性、レベリング性を向上する。泡を安定化させにくい。動的表面張力も低下する。	0.1-1.0	高	●	−	◎	○	◎				○	○
BYK-3456*	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	−	>90	静的および動的表面張力を大幅に低下させ、基板の濡れ性とレベリング性が大幅に向上する。泡を安定させず、リコート性に悪影響を与えない。スリップ性は付与しない。	0.05-0.5	高	●	−	◎	○	◎				○	○
BYK-3760*	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	−	>99	塗料の表面張力を大幅に低下し下地への濡れ性およびハジキ防止性が向上する。他のシリコン添加剤に比べて泡を安定化しない。	0.02-0.5	高	−	●	◎	○	◎	○	○		○	○

MPA ： メトキシプロピルアセテート　　DPM ： ジプロピレングリコールモノメチルエーテル

（注） この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、 個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。 なお、 一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。

表面調整剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

UV・EB 硬化系用

＊印　新製品

品名	主成分	主溶剤	不揮発分 %	特徴	標準添加量%	表面張力低下能	適用系		付与される機能						備考	
							水系	溶剤無溶剤	下地への濡れ性	ベナードセルの防止	レベリングの向上	スリップ性	スリキズ防止	上塗適性の向上	TX フリー ※ 1	PRTR 法対象外
BYK-UV 3500	アクリル基を有するポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	–	>96	UV 系で優れたレベリング性、長期的なスリップ性及びセロテープ離型性を付与する。水系にも適用。	0.05-2.0	高	●	●	◎	○	○	◎	◎		○	○
BYK-UV 3505*	アクリル基を有する変性ポリジメチルシロキサン	TPGDA	–	UV･EB 系で長期的なスリップ性を付与。下地への濡れ性、易洗浄性を向上。反応性希釈剤 TPGDA に溶解している。有効成分 40%。	0.1-0.3	高	●	●	◎	○	○	◎	◎		○	○
BYK-UV 3510	ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	–	>97	UV 系でレベリング性、下地への濡れ性及びセロテープ離型性、スリップ性を付与。	0.2-0.6	高	–	●	○	○	○	○	○		○	○
BYK-UV 3530	アクリル基を有するポリエーテル変性シロキサン	–	>96	水系 UV 塗料で下地への濡れ性を向上する。スリップ性への影響が少ない。	0.05-1.0	高	●	–	◎	○	◎				○	○
BYK-UV 3535*	変性ポリエーテル	–	100	シリコンフリーでレベリング性、リコート性を向上する。塗膜の表面エネルギーを増大し、アンチスリップ性を付与する。脱泡性あり。	0.1-0.3	–	●	●		○	○			○	○	○
BYK-UV 3570	アクリル基を有するポリエステル変性ポリジメチルシロキサン	PONPGDA	–	UV・EB 系に適度なスリップ性を付与。レベリング性、下地への濡れ性および艶消し剤の配向性を向上。反応性希釈剤 PONPGDA に溶解している。有効成分 68%。	0.1-3.0	中	–	●	○	○	○	○			○	○
BYK-UV 3575*	アクリル基を有する変性ポリジメチルシロキサン	TPGDA	–	UV・EB 系で長期的なスリップ性を付与。下地への濡れ性を向上。反応性希釈剤 TPGDA に溶解している。有効成分 40%。	0.1-0.3	高	●	●	○	○	○	○	○		○	○
BYK-UV 3576*	アクリル基を有する変性ポリジメチルシロキサン	TPGDA	–	UV・EB 系でレベリング性、下地への濡れ性を向上。泡を安定化しにくい。反応性希釈剤 TPGDA に溶解している。有効成分 40%。スリップ性にはほとんど影響しない。	0.1-0.3	中	●	●	○	○	○				○	○

TPGDA ： トリプロピレングリコールジアクリレート　　PONPGDA ： PO 変性 -2- ネオペンチルグリコールジアクリレート

（注）この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。なお、一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。　※1　製品の配合上はトルエン・キシレンを含んでおりません。

アクリル系

＊印　新製品

品名	主成分	主溶剤	不揮発分 %	特徴	標準添加量%	表面張力低下能	適用系		付与される機能						備考	
							水系	溶剤無溶剤	下地への濡れ性	ベナードセルの防止	レベリングの向上	スリップ性	スリキズ防止	消泡性脱泡性	TX フリー ※ 1	PRTR 法対象外
BYK-350	アクリル系共重合物	–	100	レベリング性及び光沢が向上。ハジキ防止効果あり。幅広い相溶性を有し、自動車・自動車補修、コイルコーティングに効果的。	0.05-0.5	–	–	●		○	◎				○	○
BYK-354	アクリル系共重合物	高沸点芳香族 ジイソブチルケトン	51	レベリング性及び脱泡性が向上する。 シリコン系、ノンシリコン系消泡剤との併用で、相乗効果あり。	0.1-1.5	–	–	●		○	◎			○	–	–
BYK-355/356	アクリル系共重合物	MPA / –	52/>98	一般工業用塗料、自動車･自動車補修塗料、コイルコーティング等に最適。BYK-356 は BYK-355 の無溶剤品。	0.1-1.0./ 0.05-0.7	–	–	●		○	◎				○/○	○/○
BYK-358 N/361 N	アクリル系共重合物	高沸点芳香族 / –	52/>98	多くの樹脂系と幅広い相溶性を示し、クリアーでの透明性の低下、エナメルでのヘイズが生じない。BYK-361 N は BYK-358 N の無溶剤品。	0.1-1.0./ 0.05-0.5	–	–	●		○	◎				–/○	–/○
BYK-381	アクリル系共重合物	DPM	52	表面張力に影響を与えない。非シリコン系でレベリング性に優れる。	0.1-1.0	–	●	–			◎				○	○
BYK-392	アクリル系共重合物	MPA	52	焼付け塗料系のワキ防止剤に最適。レベリング性が向上し、また、消泡性および脱泡性も有す。ハジキ防止効果あり。	0.1-1.0	–	–	●		○	◎			○	○	○
BYK-394	アクリル系共重合物	DPM	80	OH 基を持つ反応性アクリル系レベリング剤。架橋型バインダーと反応して塗膜表面に固定され、保護フィルム剥離性を向上する。表面張力に影響を与えない。	0.2-3.0	–	–	●			◎				○	○
BYK-3441	アクリル系共重合物	DPM	52	表面張力を低下させ、下地への濡れ性を改善する。ハジキ防止効果あり。	0.1-1.0	低	●	●	○	○	◎				○	○

MPA ： メトキシプロピルアセテート　　DPM ： ジプロピレングリコールモノメチルエーテル

（注）この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。なお、一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。　※1　製品の配合上はトルエン・キシレンを含んでおりません。

表面調整剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

その他

＊印　新製品

品名	主成分	主溶剤	不揮発分 %	特徴	標準添加量%	表面張力低下能	適用系		付与される機能						備考	
							水系	溶剤無溶剤	下地への濡れ性	ベナードセルの防止	レベリングの向上	スリップ性	スリキズ防止	上塗適性の向上	TX フリー ※ 1	PRTR 法対象外
BYK-399	表面活性ポリマー	–	>98	シリコンおよびフッ素フリーでレベリング性を向上する。有機溶剤への幅広い相溶性を持ち、光沢およびヘイズに悪影響なし。ハジキを防止する効果あり。	0.05-1.0	低	–	●	○	○	◎				○	○
BYK-3440*	アクリルコポリマー	DPM	10	表面張力を大幅に低下。特に下地への濡れ性が向上し、ハジキを防止する効果あり。	0.1-0.5	高	●	●	◎	○	○				○	○
BYK-3550	シリコン変性アクリル	MPA	52	塗料の表面張力を大幅に低下させ、ハジキを防止する。リコート性に悪影響が少なく、自動車用塗料に用いてもミミズ (ワイプ跡) の問題なし。保護フィルムの付着性良好。	0.05-0.4	高	–	●	◎	○	◎				○	○
BYK-3560*	ポリエーテルマクロマー変性アクリレート	–	100	硬化塗膜の表面エネルギーを増大し、二次層の濡れおよび密着性を向上する。塗料のレベリング性を向上し、クリヤコートの透明性に影響しない。	0.1-2.0	–	●	●		○	◎			○	○	○
BYK-3565*	シリコンおよびポリエーテルのマクロマー変性アクリレート	–	>97	硬化塗膜の表面エネルギーを増大し、二次層の濡れおよび密着性を向上する。特に水性塗料のレベリング性を向上し、ハジキ防止性を付与する。	0.1-2.0	中	●	●	○	○	◎			○	○	○
BYK-3566*	シリコンおよびポリエーテルのマクロマー変性アクリレート	–	>97	硬化塗膜の表面エネルギーを増大し、二次層の濡れおよび密着性を向上する。特に水性塗料のレベリング性を向上し、ハジキ防止性を付与する。	0.1-2.0	中	●	●	○	○	◎	○		○	○	○
BYK-SILCLEAN 3700	水酸基含有シリコン変性アクリル	MPA	25	撥水性・撥油性を大幅に向上すると共に、洗浄性も向上。耐水白化性、耐ブロッキング性、耐候性の向上。落書き防止およびテープはく離性を向上。	3.0-6.0	高	–	●	◎	○	○	◎	◎		○	○
BYK-SILCLEAN 3701*	エポキシ官能基含有ポリジメチルシロキサン	–	>94.5	エポキシシステムにおいて架橋反応硬化することで、持続的に撥水性、撥油性、洗浄性、耐水性を向上。	0.05-2.0	高	–	●	◎	○	○	◎	○		○	○
BYK-SILCLEAN 3720	水酸基含有ポリエーテル変性ポリジメチルシロキサン	メトキシプロパノール	25	架橋型水系塗料用。撥水性・撥油性を大幅に向上し、洗浄性、耐水性、耐ブロッキング性等も向上。落書き防止およびテープはく離性を向上。	2.0-6.0	高	●	–	◎	○	○	◎	◎		○	○
BYK-DYNWET 800 N	アルコールアルコキシレート	–	>83	動的表面張力を低下し、高速印刷時の濡れ性を向上。顔料分散時の粘度を低減。光沢、着色力、透明性にも効果あり。	0.5-2.0	–	●	–	○	○	○				○	○

MPA ： メトキシプロピルアセテート　　DPM ： ジプロピレングリコールモノメチルエーテル

（注） この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、 個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。 なお、 一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。

密着性付与剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

＊印　新製品

品名	主成分	主溶剤	不揮発分 %	特徴	標準添加量%	適用樹脂系											備考	
						水溶性系	ハイブリッド系	エマルション	弱溶剤系	アクリル	ウレタン	エポキシ	ポリエステル	アルキッド	フッ素・シリコン	UV系	TXフリー ※1	PRTR法対象外
BYK-4500	高分子量ブロック共重合物	注 1	40	水系塗料用。旧塗膜への密着性を向上する添加剤。 効果を発現するには旧塗膜とリコート塗膜の両方に顔料が入っている事が必要。	1.0-3.0	●	●	●									●	●
BYK-4509*	酸基を有するポリマー塩	メトキシプロパノール	80	BYK-4510 をアミン中和した製品。焼付け硬化系、および 2 液系塗料で金属素地、ガラスとの密着性を改善できる。水系と溶剤型の双方に適用可。	1.0-4.0	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-4510	酸性基を有するコポリマー	メトキシプロパノール	80	焼付け硬化塗料用。金属素材との密着性を大幅に改善できる。 水系塗料には BYK-4509 を推奨。	1.0-5.0					●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-4512*	官能基を有するポリマー	メトキシプロピルアセテート	60	クロムフリーの金属下地への密着性を向上する。メラミン樹脂あるいはポリイソシアネートと反応し樹脂と架橋する。コイルコーティング、一般工業用塗料に最適。	1.0-4.0					●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-4513*	官能基を有するポリマー	DPM	41	水系 2 液エポキシ系の樹脂に適した密着性付与剤。金属下地への密着性を向上し、防食性も向上する。シランフリーで貯蔵安定性に優れる。	1.0-5.0	●	●	●									●	●

（注） この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、 個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。 なお、 一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

注 1 ： 2,2,4- トリメチル -3- ヒドロキシペンチルイソブチレート　　※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。　DPM ： ジプロピレングリコールモノメチルエーテル

2020.02（第 47 版）

レベリング剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

溶剤型用レベリング剤

品名	主成分	主溶剤	不揮発分 %	特徴	標準添加量(%)	TX フリー ※ 1	PRTR 法対象外
BYKETOL-OK	高沸点芳香族、ケトン、エステル	高沸点芳香族ケトン、エステル	<1	ノンシリコン系強力レベリング剤。ワキ、ピンホール、ハジキ防止および泡抜けにも著効。 リコート性良好。	2.0-7.0	–	–

※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。

* 印　新製品

水系用ワキ防止、レベリング剤

品名	主成分	主溶剤	不揮発分 %	特徴	標準添加量(%)	TX フリー ※ 1	PRTR 法対象外
BYKETOL-AQ	表面活性低分子量ポリマー	メトキシプロパノール (8%)	4	消泡性を有するレベリング剤で焼付塗料および強制乾燥の塗料系でワキ防止に著効。 クレーターやピンホールなどの表面欠陥を防止し、レベリング性、消泡性を向上する。有効成分 100%HAPs・APEO フリー。	0.3-3.0	○	○
BYKETOL-WA*	表面活性低分子量ポリマー	ブチルセロソルブ（8%）	4	消泡性を有するレベリング剤で焼付塗料および強制乾燥の塗のワキ防止に著効。 クレーターやピンホールなどの表面欠陥を防止し、レベリング性、消泡性を向上する。有効成分 100%APEO フリー。	0.3-3.0	○	○

※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。

* 印　新製品

ナノ粒子ディスパージョン（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

品名	主成分	主溶剤	不揮発分 %	特徴	標準添加量(%)	TX フリー ※ 1	PRTR 法対象外
NANOBYK-3605*	シリカ 50%	ヘキサンジオールジアクリレート	–	表面処理されたシリカ粒子をアクリルモノマー HDDA に分散させたディスパージョン。粒径は 20-25nm サイズ。UV 系で、高いスリキズ防止効果を示す。クリアコートの透明性に影響しない。耐摩耗性を向上する。	4.0-20.0	○	–
NANOBYK-3620*	シリカ - 有機ハイブリッド粒子 30%	水	31	表面処理されたシリカ粒子と有機粒子を組み合わせて水中に分散したナノハイブリッドディスパージョン。粒径は 100nm サイズ。1% 以上の添加で塗膜に耐摩耗性を付与することができる。光沢および透明性に影響しない。	0.5-1.0	○	–
NANOBYK-3650	シリカ 25%	メトキシプロピルアセテート / メトキシプロパノール	31	低極性シリコンで表面処理したシリカナノ粒子を MPA / PM 溶液に分散させたディスパージョン。粒径は 20-25nm サイズ。1 液 /2 液クリアで高光沢及び高いスリキズ防止効果を示す。UV 系ではスリキズ防止効果および塗膜の収縮、反り抑制効果を示す。	0.5-6.0	○	○
NANOBYK-3652	シリカ 25%	メトキシプロピルアセテート / メトキシプロパノール	31	中極性シリコンで表面処理したシリカナノ粒子を MPA / PM 溶液に分散させたディスパージョン。粒径は 20-25nm サイズ。1 液 /2 液クリアで高光沢及び高いスリキズ防止効果を示す。UV 系ではスリキズ防止効果および塗膜の収縮、反り抑制効果を示す。	0.5-6.0	○	○

（注）　この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、 個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。 なお、 一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。

乾き防止剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

水系用乾き防止剤

品名	主成分	主溶剤	不揮発分 %	特徴	標準添加量%	TX フリー ※ 1	PRTR 法対象外
BYKETOL-PC	変性ユリア	水	90	水系顔料ペースト及び水系塗料の乾き防止に効果がある。	3.0-10	○	○

※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。

層状無機添加剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

BYK

＊印　新製品

品名	主成分	特徴	含水率（%）	標準添加量%	適用系		付与される機能					適用分野					
					水系	溶剤系	沈降防止	たれ止め	バリア性	帯電防止	その他	コーティング・インキ	接着剤・シーラント	建築・建設資材	液状クリーナー	鋳型洗浄剤	その他※
CLAYTONE-40	有機変性ベントナイト	低～中極性向け。標準グレードで分散するために高剪断力を必要とし、アクチベーターが必要。	<3	0.1-1.0		○	◎	◎				◎	◎				
CLAYTONE-AF	有機変性ベントナイト	低～中極性系向け。標準グレードよりも分散が容易な自己活性グレードでアクチベーター不要。	<3	0.3-1.0		○	◎	◎				◎	◎				
CLAYTONE-HY	有機変性ベントナイト	低～中極性系向け。標準グレードよりも分散が容易な自己活性グレードでアクチベーター不要。	<2	0.2-2.0		○	◎	◎				◎	◎				
CLAYTONE-HT	有機変性ベントナイト	低～高極性系向け。標準グレードで分散するために高剪断力を必要とし、アクチベーターが必要。	<3	0.3-1.0		○	◎	◎				◎	◎				
CLAYTONE-VZ*	有機変性ベントナイト	中～高極性系向け。標準グレードで分散するために高剪断力を必要。また、ANTI-TERRA-U の併用により効果が高まる。	<3	0.2-0.6		○	◎	◎				◎	◎		◎	◎	A
CLAYTONE-MPZ*	有機変性ベントナイト	中～高極性系向け。標準グレードよりも分散が容易な自己活性グレード。アクチベーターにより、効果が高まる。	<3	0.2-0.6		○	◎	◎				◎	◎			◎	A
CLAYTONE-APA	有機変性ベントナイト	中～高極性系向け。標準グレードよりも分散が容易な自己活性グレードでアクチベーター不要。	<2	0.2-2.0		○	◎	◎				◎	◎				
GARAMITE-1958	有機変性された鉱物の混合物	低～高極性と広い範囲で使用可能。混合された鉱物技術により、分散が非常に容易。無溶剤系にも対応可能。RHEOBYK-405 を添加することでさらに効果が向上。ヒュームドシリカよりも効果が高くと、取扱いも容易。後添加による使用可能。	<6	0.3-1.5		○	◎	◎				◎	◎				B
GARAMITE-2578	有機変性された鉱物の混合物	薄膜に対応。混合された鉱物技術により、分散が非常に容易。無溶剤系にも対応可能。RHEOBYK-405 を添加することでさらに効果が向上。ヒュームドシリカよりも効果が高くと、取扱いも容易。後添加による使用可能。	<6	0.3-1.5		○	◎	◎				◎	◎				B
GARAMITE-7303	有機変性された鉱物の混合物	低極性向け。混合された鉱物技術により、分散が非常に容易。無溶剤系にも対応可能。RHEOBYK-405 を添加することでさらに効果が向上。ヒュームドシリカよりも効果が高くと、取扱いも容易。後添加による使用可能。	<6	0.3-1.5		○	◎	◎				◎	◎				B
GARAMITE-7305	有機変性された鉱物の混合物	高極性向け。混合された鉱物技術により、分散が非常に容易。無溶剤系にも対応可能。RHEOBYK-405 を添加することでさらに効果が向上。ヒュームドシリカよりも効果が高くと、取扱いも容易。後添加による使用可能。	<6	0.3-1.5		○	◎	◎				◎	◎				B
LAPONITE-EP	合成ヘクトライト	広 pH 域の使用に優れ、強酸性、強アルカリ性の系にも対応。他の LAPONITE グレードよりもゲル構造の構築が速い。無色で高い透明性。	<10	0.1-2.0	○		◎	◎				◎	◎				C
LAPONITE-RD	合成ヘクトライト	幅広い水系配合にて、高いチクソトロピー性を付与。無色で高い透明性。LAPONITE の標準グレード。	<10	0.1-2.0	○		◎	◎				◎	◎		◎		C
LAPONITE-RDS	合成ヘクトライト	LAPONITE RD のゾル形成グレード。10% の濃度での水分散液は約 24 時間流動性を示し、少量の電解質を添加することで急速に高チクソトロピー性のゲルを形成。濃縮ゾルは塗布すると導電性膜を形成。	<10	0.1-2.0	○		○	○				◎	◎		○		C
LAPONITE-S 482	合成ヘクトライト	20% の濃度での水分散液は通常、1 年間流動性を示す。少量の電解質や、樹脂、界面活性剤、顔料等を含有する系に添加すると速やかに高チクソトロピー性のゲルを形成。	<10	15-25	○				○	◎		◎			○		C
OPTIBENT-602	ベントナイトと他成分の混合	セメントベースのタイル用接着剤、プラスターに有効なレオロジーコントロール剤。タイル接着剤のオープンタイムを延長。壁面にも最適。	<14	0.1-0.3	○		◎	◎			○			◎			
OPTIBENT-987	ベントナイトと他成分の混合	ドライブレンドモルタルやエマルジョン系向け製品。チクソトロピー性と降伏値を付与。カルシウムイオンを多く含有する系で優れた性能を発揮。グラウトやラテックスタイル接着剤、無水石膏での水浮・セメントや珪砂、砂利の沈降防止剤としても使用可。	<13	0.05-2.0	○		◎	◎			○			◎			
OPTIBENT-MF	ベントナイトと他成分の混合	セルフレベリング材や無機系下地調整剤の骨材の沈降防止に有効。	<12	0.05-2.0	○		◎	◎			○			◎			
OPTIBENT-NT 10	疎水化変性ベントナイト	セメント系ドライミックスモルタルの作業性を改善し疎水性を付与。撥水性を寄与し、さらに有機物の含有量を減らすことで、取扱い時の最終処方の感水性を向上。	<8	0.1-0.8	○		○	○			○			◎			
OPTIGEL-CK	Na 置換型ベントナイト	弱酸や弱塩基に対して安定。系にチクソトロピー性及び降伏値を付与。OPTIGEL の標準グレード。	8-13	0.1-3.0	○		◎	◎				◎	○		◎	◎	C
OPTIGEL-LX	Na 置換型ベントナイトと特殊ポリマーの混合	強いチクソトロピー性を付与。セルロース系増粘剤との併用も可能で、その際は添加量は 0.2% 以下でも効果あり。エマルジョン系向け。	6-12	0.1-2.0	○		◎	◎				◎	◎				C
OPTIGEL-WM	Na 置換型ベントナイトと特殊ポリマーの混合	強いチクソトロピー性を付与し、垂直面の厚膜塗布を可能とする。樹脂なしあるいは樹脂量の少ない系でも使用可能。パテ、コーキング材、クリーニングコンパウンド、ワックス、研磨剤に最適。	7-12	0.1-2.0	○		◎	◎				◎	○	◎	◎		C
OPTIGEL-WX	Na 置換型ベントナイトと特殊ポリマーの混合	広 p H 域の使用に優れ、希釈した酸や塩基に対して安定。降伏値を付与し。擬塑性粘性により厚塗りでの作業性が向上。比重の大きい顔料やフィラーの沈降防止に効果的。貯蔵時の色分離、水浮き防止に効果的。	<13	0.3-2.0	○		◎	◎				◎	○	◎	◎	○	C
OPTIGEL-W 724	Na 置換型ベントナイトと特殊ポリマーの混合	エマルジョン塗料に最適であり、チクソトロピー性及び降伏値を付与。	<14	0.1-3.0	○		◎	◎				◎	○			○	C

（注）　この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、　個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。　なお、　一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

※ A ： コンポジット材料等　B ： 研磨剤、　ツヤ出し剤等

2020.02（第 47 版）

液状レオロジーコントロール剤 （詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。） *印 新製品

品名	主成分	主溶剤	有効成分 %	特徴	標準添加量%	適用樹脂系											備考	
						水溶性系	ハイブリッド系	エマルション	弱溶剤系	アクリル	ウレタン	エポキシ	ポリエステル	アルキッド	フッ素・シリコン	UV系	TXフリー ※1	PRTR法対象外
RHEOBYK-405	ポリヒドロキシカルボン酸アミド	キシレン / アルキルベンゼン / イソブタノール	52	ヒュームドシリカやクレーなどの無機チキソ剤と併用すると、網目構造を形成し、より強いチキソ性を付与する。粘度の経時安定性が高い。ヒュームドシリカに対して 20 ～ 40%添加。	10-40 ※ 2				●	●	●	●	●	●	●	●	–	–
RHEOBYK-7405	ポリヒドロキシカルボン酸アミド	PPG600	52	RHEOBYK-405 の芳香族フリーバージョン。効果は RHEOBYK-405 と同じ。	10-40 ※ 2				●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
RHEOBYK-R 606	ポリヒドロキシカルボン酸エステル	–	>97	ヒュームドシリカまたはクレーと併用するチキソトロピー強化剤。無機チキソ剤間の水素結合を強化し、チキソ性を高める。このため、シリカまたはクレーの量が少ない場合でも、レベリング、消泡性を保持したまま高い垂れ防止特性を実現できる。	5-15 ※ 2				●	●	●	●	●	●	●		●	●
RHEOBYK-R 607	アミン官能基を有するオリゴアミド	ソルベントナフサ	75	フュームドシリカあるいはクレーなど無機チキソ剤との併用でチキソ性を向上させるレオロジーコントロール剤。添加により形成される網目構造が強化されるので、アミン系硬化剤を添加したときにみられる構造破壊が防止できる 。本添加剤はアミン硬化剤側に添加することも可能。	20-80 ※ 2				●	●	●	●					–	–
RHEOBYK-410	変性ウレア	N- メチルピロリドン	52	液状で後添加が可能。撹拌しながら系に加える。チキソ性を付与し顔料の沈降およびタレ止め防止に著効。アルミやマイカの沈降防止にも有効。	0.1-2.0					●	●	●	●	●	●	●	●	●
RHEOBYK-411 /7411 ES	変性ウレア	N- メチルピロリドン / アマイドエステル	27 / 25	樹脂と会合してチキソ性を付与し沈降防止性およびタレ止め性が向上、着色系でのクリアー分離（ニス浮き）を低減。後添加での補正に最適。	0.2-2.0				●					●			●	●
RHEOBYK-415	高分子ウレア誘導体	ジメチルスルホキシド	30	温度安定性のある粘度特性を有し、強制乾燥および焼き付け系のタレ止め性を向上する。ベル塗装の場合は BYK-430 との併用で流動性とタレ止め性の最適化が可能。	0.5-4.0					●	●	●	●	●	●	●	●	●
RHEOBYK-420 /7420 ES	変性ウレア	N- メチルピロリドン / アマイドエステル	52 / 40	水系塗料にチキソ性を付与し、沈降防止及びタレ止め性が向上。塗料の pH が変化しても粘性が変わらない。後添加による粘度調整が容易。	0.3-3.0	●	●	●									●	●
RHEOBYK-425	ウレア変性ウレタン	ポリプロピレングリコール	50	水系塗料に擬塑性流動を付与し、タレ防止の向上、沈降防止効果も期待できる。バインダーとの相互作用で粘性を発現する。後添加による粘度調整が容易。粘度の pH 依存性がない。	0.1-1.5	●	●	●									●	●
RHEOBYK-430	ウレア変性中極性ポリアマイド	イソブタノール / ソルベントナフサ	30	溶剤系塗料に擬塑性流動を付与し、タレ防止、沈降防止効果が期待できる。重防食エポキシ系に有効。液状で取り扱い容易。層間密着性への悪影響なし。中極性向き。	0.1-3.0					●	●	●					–	–
RHEOBYK-431	ウレア変性低極性ポリアマイド	イソブタノール / モノフェニルグリコール	25	溶剤系塗料に擬塑性流動を付与し、タレ防止、沈降防止効果が期待できる。建築、工業用、自動車に有効。液状で取り扱い容易。層間密着性への悪影響なし。低極性向き。	0.1-4.0				●	●	●	●		●	●		●	●
RHEOBYK-T 1000 VF	ノニオン系疎水性変性ポリマー	水	22.5	会合型レオロジーコントロール剤。高シェア範囲での粘度を高め、低シェア範囲にはほとんど影響しない。 作業性、レベリング性、貯蔵安定性が向上。塗装時のスパッタリングが低減。流動特性とレベリング性のバランスに優れ膜厚を厚くすることが可能。	1.0-4.0	●	●	●									●	●
RHEOBYK-T 1010 VF	ノニオン系疎水性変性ポリマー	水	22.5	会合型レオロジーコントロール剤。高シェア範囲で増粘し加工性、レベリング性および貯蔵安定性が向上。塗装時のスパッタリングが低減。流動性およびレベリング性のバランスに優れ、膜厚を厚くすることが可能。VOC、APEO およびスズフリー。	1.0-4.0	●	●	●									●	●
RHEOBYK-L 1400 VF	ノニオン系疎水性変性ポリマー	水	20	会合型レオロジーコントロール剤。ニュートニアンフローを与え刷毛塗り作業性を改善、またスパッタリングを減少させる。 流動性とレベリングとの間の優れたバランスと共に、より厚い膜厚を達成することができる。OPTIFLO-H シリーズのような低せん断範囲で有効なレオロジー添加剤と組み合わせると、最適な作業性が得られる。	0.2-0.9	●	●	●									●	●
RHEOBYK-M 2600 VF	ノニオン系疎水性変性ポリマー	水	20	会合型レオロジーコントロール剤。中シェア範囲で粘度を大幅に増加させる。塗装作業時のスパッタリングが減少し、レベリングの良い厚塗りが可能。	0.4-2.0	●	●	●									●	●
RHEOBYK-H 3300 VF	ノニオン系疎水性変性ポリマー	水	17.5	会合型レオロジーコントロール剤。OPTIFLO-H 3300 VF は、低から中シェア範囲で粘度を高める。流動性と垂れ性の間の優れたバランスを付与する。OPTIFLO-L / T シリーズのような高シェア範囲で有効なレオロジー添加剤と組み合わせると、最適な作業性が得られる。	0.3-2.0	●	●	●									●	●
RHEOBYK-7600*	疎水変性ポリウレタンの溶液	水	15	会合型レオロジーコントロール剤。低シェア範囲で大幅に増粘し、着色後の粘度安定性に優れ色受容性を改善する。良好なレベリングと共にタレ止めにも効果的。液状で取扱いが容易。夏場の高温時でも効果を失わない。	0.1-1.0	●	●	●									●	●
RHEOBYK-H 7625 VF	ノニオン系疎水性変性ポリマー	水	20	会合型レオロジーコントロール剤。低シェア範囲で大幅に増粘し、たれを防止、貯蔵安定性が向上する。OPTIFLO-L/T シリーズ等の高シェア範囲で効果的なレオロジー添加剤と併用すると、最適な作業性が得られます。	1.0-4.0	●	●	●									●	●
RHEOBYK-TVS VF	ノニオン系疎水性変性ポリマー	水	21	会合型レオロジーコントロール剤。低シェア範囲で大幅に増粘し、OPTIFLO-L/T シリーズ等の高シェア範囲で効果的なレオロジー添加剤と併用すると、最適な作業性が得られる。着色後の粘度安定性に優れる。	0.3-2.0	●	●	●									●	●

既存の有機系レオロジーコントロール剤の製品名を 「RHEOBYK」 シリーズに統一し、 展開してまいります。

（注） この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、 個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。 なお、 一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません　※ 2　シリカ、クレイなどの粒子に対しての添加量

消泡剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

溶剤型用

＊印　新製品

品名	主成分 シリコン	主成分 ポリマー	主溶剤	不揮発分 %	特徴	標準添加量(%)	適用樹脂系 弱溶剤系	アクリル	ウレタン	エポキシ	ポリエステル	アルキッド	フッ素・シリコン	UV系	備考 TXフリー※1	PRTR法対象外
BYK-051 N		○	ミネラルスピリット	20	BYK-052 より相溶性に優れ、クリアーで透明性を維持できる。高極性から中極性の樹脂系に最適。	0.05-0.5		●	●	●		●	●		–	–
BYK-052 N		○	ミネラルスピリット	20	BYK-051 に比べ不相溶性が高く、多くの樹脂系で標準的に使用される。	0.05-0.5		●	●	●		●	●		–	–
BYK-054		○	イソパラフィン	25	芳香族フリー系の消泡剤。ポリウレタン及びエポキシ床などの無溶剤型塗料に最適。不相溶性が強く、置換発泡など気泡の除去に効果。	0.1-1.0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-055		○	高沸点芳香族 MPA	6.5	脱泡剤。不飽和ポリエステル、エポキシ、UV 硬化系などに最適。カーテンコートに使用しても膜の安定性に影響しない。	0.1-1.5	●	●	●	●	●	●		●	–	–
BYK-057		○	高沸点芳香族 MPA	44	脱泡剤。不飽和ポリエステル、エポキシ、UV 硬化系などに最適。BYK-055 より効果が高い。	0.1-1.5	●	●	●	●	●	●	●	●	–	–
BYK-065	○		シクロヘキサノン	0.7	高い消泡性を持ち、少ない添加量でも消泡効果が高い。	0.1-1.0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-066 N	○		ジイソブチルケトン	0.7	非常に高い消泡性を持ち、少ない添加量でも消泡効果が高い。BYK-065 より消泡性高い。	0.1-0.7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-067 A	○		プロピレングリコール	89	BYK-066N の無溶剤、無臭タイプ。特に、ハイソリッド及び芳香族溶剤フリーの系に最適。	0.1-0.7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-077	○		高沸点芳香族	52	常乾、焼付塗料に有効。特にカーテンフローコーター、ディッピングに効果大。 スリップ、レベリング性が良好、ツヤ消剤の配向、色浮き防止に効果的。	0.05-0.6	●	●	●	●	●	●	●	●	–	–
BYK-081*	○		プロピレングリコール	>90	フッ素フリーの消泡剤。塗料の表面張力を低下し、ピンホールの発生を防止する。アミン中和型水系塗料にも適用可。 クリヤコートへの相溶性が良好。食品接触用途に使用できる。	0.05-1.0	●	●	●			●	●	●	●	●
BYK-088	○	○	イソパラフィン	3.3	クリヤコートへの相溶性が良好。食品接触用途に使用できる。	0.2-0.8	●	●	●	●		●	●	●	●	●
BYK-141	○	○	高沸点芳香族 イソブタノール	3.2	一般工業用、紙用コーティング剤、カーテンコート用木工塗料に最適。	0.1-0.7		●	●						–	–
BYK-354		○	高沸点芳香族 ジイソブチルケトン	51	脱泡剤。他の消泡剤と併用すると相乗効果がみられる。エポキシ、ウレタン、アクリル、不飽和ポリエステル、UV 硬化系などに最適。	0.1-1.5	●	●	●	●	●	●	●	●	–	–
BYK-392		○	MPA	52	焼付け塗料系のワキ防止剤に最適。レベリング性が向上し、また、消泡性および脱泡性も有す。ハジキ防止効果あり。	0.1-1.0		●	●		●	●			●	●
BYK-1752		○	イソパラフィン	20	BYK-052 の TX フリー品。BYK-052 と同等の効果を発揮。	0.05-0.5	●	●	●	●		●	●		●	●
BYK-1759*		○	酢酸エチル	52	シリコン、ミネラルオイルフリーの消泡剤。フレキソ印刷に最適で、印刷インキではオーバープリントやラミネート加工時のインターコートの接着力に悪影響なし。	0.1-1.0	●	●	●	●		●	●		●	●
BYK-1788*		○	–	>98	非シリコン系の VOC フリー品。溶剤系、ハイソリッド系、無溶剤系に適し、特に 100%UV 硬化系に最適。幅広い相溶性を持ち、クリアコートやサーモセットに最適。	0.3-0.5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-1790		○	–	100	無溶剤の消泡剤。低極性・無溶剤型塗料、UV 塗料に最適。不相溶性が強く、消泡効果が大きいが濁りが少ない。 置換発泡など気泡の除去に効果。BYK-054 より効果が高い。FDA に準拠。	0.1-0.7	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-1791*		○	イソパラフィン	40.5	溶剤型および無溶剤型塗料、特に UV 硬化型塗料に最適。透明性が高く、ハジキの生成が少ない。芳香族フリー。	0.1-1.5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-1794*		○	–	100	無溶剤の消泡剤。2 液無溶剤型塗料、ならびにハイソリッド、UV 硬化塗料に最適。消泡・脱泡効果が高くクリアーでの濁りが少ない。FDA に準拠。	0.1-1.0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-1795*		○	–	>99	シリコンフリーの消泡剤。2液無溶剤型塗料、ならびにハイソリッド、UV硬化塗料に最適。少量添加でも消泡性を示し、特にポリウレタン、ポリエステルメラミン、エポキシコーティングのピンホール除去に最適	0.1-1.0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-1797*	○		–	100	非常に効果的なシリコン含有消泡剤で、UV 硬化性スクリーン印刷インキに特に適している。 高い添加量ではレベリングおよび基材湿潤を改善する。 適切な剪断力で添加した場合、水性印刷インキにも使用できる。	0.02-2.0	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BYK-1799*	○		–	>98	VOC フリーの強力なシリコン消泡剤。少量添加で効果を発揮し、艶消しや顔料を含む UV 系、ハイソリッドや無溶剤のエポキシ、ウレタン、ポリエステル系に有効。	0.05-0.5	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

MPA ： メトキシプロピルアセテート

（注） この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、 個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。 なお、 一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。

消泡剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

水系用

BYK

＊印　新製品

品名	主成分				主溶剤	不揮発分 %	特徴	標準添加量%	適用			備考	
	シリコン	ポリマー	その他	疎水性粒子					水溶性系	ハイブリッド系	エマルション	TXフリー※1	PRTR法対象外
BYK-011		○		○	炭化水素	29	シリコン、ミネラルオイルフリー。自動車、一般工業用塗料に最適。サーキュレーション下でのハジキ発生がほとんど無い。	1.0-2.5	●	●	●	●	●
BYK-012		○		○	–	>96	建築･工業用･自動車塗料用から接着剤、重合時にも有効なシリコン･ミネラルオイルフリー消泡剤。少量で効果大。	0.05-0.5	●	●	●	●	●
BYK-014		○	脂肪誘導体	○	–	–	アクリルまたはエチレン酢酸ビニルなどの各種ディスパージョンに優れた消泡性を示す。低 VOC 建築塗料に最適。プラスターおよび接着剤にも適用可。シリコン・ミネラルオイルフリー。APEO フリー。	0.1-0.5	●	●	●	●	●
BYK-015		○		○	–	>97	顔料を充てんした水系塗料での消泡性が良好。自動車および工業用焼付塗料でのワキ防止性が向上。塗り重ね時の層間密着性に影響しない。	0.2-1.0	●	●	●	●	●
BYK-017	○			○	–	>98	ピグメントコンセントレート用消泡剤。貯蔵安定性に優れる。	0.2-0.8	●	●	●	●	●
BYK-018	○			○	–	>97	スチレンアクリル、アクリル、アクリルとウレタン混合系の着色エマルションに有効。ディッピング、カーテンコート、エアレスでのマイクロフォームに著効。	0.05-0.8	●	●	●	●	●
BYK-019	○				DPM	60	ウレタンディスパージョン、ウレタンとアクリルの混合系、ピグメントコンセントレートに有効。 マイクロフォームには BYK-019 と BYK-024 を 3 ／ 2 の組み合わせで併用。オーバープリントワニスに著効。	0.1-1.0	●	●	●	●	●
BYK-021	○			○	–	>97	顔料体積濃度（PVC):18-25 のスチレンアクリル、アクリル、アクリルとウレタン混合系の着色エマルションに有効。特にエアレスおよびエアスプレー塗装時のマイクロフォームに著効。	0.1-0.8	●	●	●	●	●
BYK-022	○			○	–	>97	顔料体積濃度（PVC):18-25 のスチレンアクリル、アクリル、アクリルとウレタン混合系の着色エマルションに有効。マイクロフォームに著効。アミン中和型水系塗料にも可。	0.05-0.8	●	●	●	●	●
BYK-023/1723*	○			○	水	18.5	顔料体積濃度(PVC):30-50のスチレンアクリル、アクリルの着色エマルションに有効。BYK-1723はBYK-023のEUエコラベル対応品。	0.05-0.8		●	●	●	●
BYK-024	○			○	–	>96	顔料体積濃度（PVC）: 0-25 のウレタン、アクリルとウレタン混合系エマルションに著効。特にローラー、刷毛、スプレー塗装に優れる。	0.1-1.0	●	●	●	●	●
BYK-025	○				DPM	18.5	ウレタン、アクリルとウレタン混合系の顔料を含まないエマルションに有効。系への混合が容易で、カーテンコート塗装中でも添加が可能。	0.1-1.5	●	●	●	●	●
BYK-028	○			○	–	>98	顔料体積濃度（PVC）: 0-25 のウレタン、アクリルとウレタン混合系エマルションに著効。特にローラー、刷毛、スプレー塗装に優れる。BYK-024 に比べハジキ傾向が少ない。	0.1-1.0		●	●	●	●
BYK-038	○		ミネラルオイル	○	–	>96	顔料体積濃度（PVC）: 20-70 のエマルションに有効。APEO フリー。	0.1-0.5		●	●	●	–
BYK-039*			ミネラルオイル	○	–	>97	顔料体積濃度（PVC）: 35-70 のエマルションに有効。APEO フリー。高固形分ウレタン皮革塗料にも最適。	0.1-0.5		●	●	●	–
BYK-044	○			○	水	57	ミルベースの製造時に使用すると優れた消泡性を示す。特に、グリコールペーストおよび水系ピグメントペーストの消泡性に優れる。	0.05-2.0	●	●	●	●	–
BYK-093	○			○	–	>98	添加が容易（低シェアでの添加が可能）、後添加での使用も可。貯蔵安定性試験後（低温、高温）の消泡性の持続性に優れる。	0.3-1.0	●	●	●	●	●
BYK-094	○			○	–	>96	水系フレキソ、グラビアインキおよびオーバープリントワニスの消泡に適す。また、印刷時の消泡安定性にも優れる。	0.1-1.0	●	●	●	●	●
BYK-1610/1611*	○			○	水	17	顔料体積濃度（PVC）: 35-70のエマルション塗料に最適。エマルションプラスターに高い有効性。APEOフリー。BYK-1611はBYK-1610のEUエコラベル対応品。	0.1-0.5		●	●	●	●
BYK-1615/1617*	○			○	水	12.5	顔料体積濃度（PVC）: 60-85の高充填系エマルション塗料に最適。APEOフリー。BYK-1617はBYK-1615のEUエコラベル対応品。	0.1-0.5		●	●	●	●

消泡剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

水系用

＊印　新製品

品名	主成分				主溶剤	不揮発分 %	特徴	標準添加量%	適用			備考	
	シリコン	ポリマー	その他	疎水性粒子					水溶性系	ハイブリッド系	エマルション	TXフリー※1	PRTR法対象外
BYK-1640*		○		○	水	62	水系塗料の多用途に適した消泡剤で、コストパフォーマンスに優れる。マイクロフォームにも有効。食品接触用途にも対応。APEO フリー。	0.05-0.5	●	●	●	●	●
BYK-1650	○			○	水	27.5	顔料体積濃度（PVC）：20-50 のスチレン−アクリル、およびアクリルエマルション塗料に最適。APEO フリー。	0.1-0.5		●	●	●	−
BYK-1680*		○			−	100	セメント用の VOC フリーの消泡剤。コンクリート混和剤との併用で消泡性、流動性を向上させる。	0.025-0.5				●	●
BYK-1690 SD*			炭化水素		−	−	ドライモルタル用途に適した粉末タイプ。低添加量でも気泡含有量の低減に効果的。	0.05-0.5				●	●
BYK-1691 SD*		○			−	−	ドライモルタル用途に適した粉末タイプ。持続的に流動性を向上させる。	0.05-0.5				●	●
BYK-1710		○		○	ジイソプロピルナフタレン	−	特にアルキッドエマルジョンをベースとする塗料に有効。光沢・外観などの表面特性にほとんど影響しない。添加が容易で、製造工程のいずれの段階においても添加が可能。	0.1-0.5	●	●	●	●	●
BYK-1711		○		○	パラフィンオイル	−	シリコン、ミネラルオイルフリー。自動車、一般工業用塗料に最適。特に 2 液型塗料、無溶剤型 UV 塗料に著効。系への混合が容易で、ハジキの発生がほとんど無い。クリアの透明性に影響しない。	0.1-0.5	●	●	●	●	●
BYK-1719*	○			○	−	100	VOC フリーのシリコン消泡剤。水系印刷インキやオーバープリントワニスですばやい消泡性を発揮する。グリコールフリー。	0.1-0.5	●	●	●	●	●
BYK-1724*	○			○	水	27	水系エマルションペイント、印刷インキオーバープリントワニスおよびエマルション系接着剤に適したVOCフリー、シリコン消泡剤。相溶性に優れ添加が容易。	0.1-0.5	●	●	●	●	●
BYK-1730	○			○	−	99.2	顔料体積濃度（PVC）：18-26 のスチレンアクリル、アクリル、アクリルとウレタン混合系の着色エマルションに有効。マイクロフォームに著効。アミン中和型水系塗料にも可。	0.1-0.5	●	●	●	●	●
BYK-1740			脂肪誘導体	○	−	100	植物オイル誘導体を主成分とする“グリーン“な消泡剤。顔料体積濃度（PVC):40 以上のエマルション塗料に最適。汎用のミネラルオイル消泡剤と同等の性能で世界的エコラベル基準に適合。生分解性あり。ホルムアルデヒドおよび APEO フリー。	0.2-0.5		●	●	●	●
BYK-1770	○				−	>96	厚膜アクリル系またはウレタン系塗料のエアレスおよびエアスプレー塗装時のマイクロフォームに有効。フローコーターにも適用可。	0.3-1.0	●	●	●	●	●
BYK-1780*	○			○	−	>96	厚膜型、高粘度、高チキソなど消泡の難しい水系塗料に著効。またエアレスおよびエアスプレー塗装時のマイクロフォームに有効。	0.3-1.0	●	●	●	●	●
BYK-1781*	○			○	−	>97	消泡バランスの良い消泡剤で薄膜および厚膜型水系塗料のマイクロフォームおよびマクロフォームに有効。ローラー、およびハケ塗り、スプレー塗装にも適用可。光沢、透明性への悪影響なし。	0.3-1.1	●	●	●	●	●
BYK-1785*	○			○	水	30	薄膜および厚膜型水系塗料のエアレスおよびエアスプレー塗装時のマイクロフォームに有効。ローラー、およびハケ塗りにも適用可。APEO フリー。	0.3-1.0	●	●	●	●	●
BYK-1786*	○			○	水	25	薄膜および厚膜型水系塗料のエアレスおよびエアスプレー塗装時のマイクロフォームに有効。ローラー、およびハケ塗りにも適用可。塗膜の光沢や透明性に悪影響なし。水系 UV へも優れた消泡性を示す。APEO フリー。	0.2-1.0	●	●	●	●	●
BYK-1798	○				ブチルセロソルブ / エチルヘキサノール / ミネラルスピリット	10	アミン中和型水溶性塗料に著効。UV 硬化型塗料にも最適。	0.1-0.7	●			※2	●

DPM ： ジプロピレングリコールモノメチルエーテル

（注） この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、 個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。 なお、 一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。　※ 2　不純物として微量の芳香族を含有

粉体塗料用添加剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

＊印　新製品

品名	主成分	有効成分%	特徴	標準添加量%
BYK-361 N	アクリル系共重合物	＞98	フロー性とレベリング性を向上。優れた相溶性を持ち、クリアー粉体塗料の透明性を損なわない。	0.1-1.5
BYK-360 P	シリカに吸着したポリアクリレート（粉末）	57	フロー性とレベリング性を向上。脱ガス性向上に補助的な役割も有す。 汎用グレード。	0.5-1.5
BYK-364 P	シリカに吸着したアクリルコポリマー（粉末）	60	フロー性とレベリング性を向上。-OH 基を有し、バインダー樹脂との反応が可能。	0.5-2.0
BYK-368 P	シリカに吸着したポリアクリレート（粉末）	63	フロー性とレベリング性を向上。優れたハジキ防止効果を持つ。 高級グレード。	0.5-1.5
BYK-3900 P	シリカに吸着したポリアクリレート（粉末）	63	レベリング性の向上及びハジキの防止。塗装工程で起こるコンタミによる不具合を低減する。	0.5-1.5
BYK-3902 P	シリカに吸着したポリアクリレート（粉末）	63	レベリング性の向上及びハジキの防止。塗装工程で起こるコンタミによる不具合を低減する。分散性に優れ、薄膜の粉体塗料に適用可。	0.5-1.5
BYK-3931 P	シリカに吸着したポリアクリレート（粉末）	63	現在使用しているレベリング剤との併用により、ハジキ防止及びレベリング性を向上させる相乗効果を与える。	0.2-0.6
BYK-3932 P	シリカに吸着した特殊混合ポリマー（粉末）	63	塗膜表面にスリップ性を付与し、耐スリキズ性を向上する。現在使用しているレベリング剤との併用により、ハジキ防止及びレベリング性を向上させる相乗効果を与える。	0.2-1.0
BYK-3933 P*	シリカに吸着した変性アクリレート (粉末)	63	多機能性を有するレベリング剤。粉体クリアコートのヘイズを最小限に抑え、自然で高い透明性を付与する。塗膜の表面張力を増加し、液状塗料による上塗り適性を向上する。水蒸気や湿度によるくもりを防止する。	0.5-1.5
BYK-3950 P	顔料に親和性のあるコポリマー（粉末）	100	外観向上剤。フロー性及びレベリング性を飛躍的に向上させる。湿潤分散効果によりフィラーの高濃度化が可能。脱ガス性に効果有り。	0.5-2.0
BYK-3951 P	シリカに吸着した顔料に親和性のある高分子コポリマー（粉末）	63	外観向上剤。フロー性及びレベリング性を飛躍的に向上させる。湿潤分散効果によりフィラーの高濃度化が可能。脱ガス性に効果有り。焼付時の粘度を低下させる。	0.5-2.0
BYK-3955 P	シリカに吸着した顔料親和性基を有するコポリマー (粉末)	63	カーボンブラックの色受容性を向上する。光沢およびレベリング性が向上し、ハジキ、フィッシュアイおよびブツの生成を防止する。脱ガス性に効果あり。	0.5-2.0

粉体塗料用ワックス添加剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

＊印　新製品

品名	主成分	融点 (ワックス) (℃)	平均粒径 D50 (μm)	特徴	標準添加量 %
CERAFLOUR 950	変性高密度ポリエチレンワックス	135	9	粉体塗料用微粉状ワックス。つや消し効果が高く、塗膜表面の機械的強度を向上する。	0.5-2.0
CERAFLOUR 960	変性アマイドワックス	145	4	粉体塗料用微粉状ワックス。顔料の濡れ性、フロー性、レベリング性を向上し、ヘイズを低下する。	0.5-2.0
CERAFLOUR 961	変性ポリエチレンワックス	140	5	粉体塗料用微粉状ワックス。被塗物から発生する気泡を塗膜から排出しピンホールの発生を防止する。	0.5-2.0
CERAFLOUR 962	変性ポリエチレンワックス	140	9	粉体塗料用微粉状ワックス。被塗物から発生する気泡を塗膜から排出しピンホールの発生を防止する。塗料に後添加でも使用可能。	0.5-4.0
CERAFLOUR 964*	アマイドワックス	75	20	粉体塗料用微粉状ワックス。特にベータ HAA および低温硬化系などの各種粉体塗料の脱ガス性を向上。	0.5-2.0
CERAFLOUR 967	合成ポリマー	―	―	粉体塗料用微粉状ポリマー。塗膜にハンマートーン模様、アンティーク模様を付与する。模様の再現性に優れる。	0.1-0.3
CERAFLOUR 970	ポリプロピレンワックス	160	9	粉体塗料用微粉状ワックス。塗膜にアンチスリップ性を付与する。ツヤ消し効果に優れている。	0.5-4.0
CERAFLOUR 993	アマイドワックス	145	13	ワキ防止に効果を発揮。塗料中のベンゾイン量の最大 50%を置換する事が可能。耐熱黄変性が改良できる。	0.5-2.0

（注）この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。なお、一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

機能性ワックス添加剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

BYK

* 印　新製品

品名	主成分	溶媒	粒径 D50(μm)	融点 (ワックス) (℃)	不揮発分 (%)	標準添加量%	適用系		付与される機能											適用分野							備考	
							水系	溶剤系	つや消し	スリップ性	アンチスリップ	スリキズ防止・耐摩耗性	耐ブロッキング性	ソフトフィール	テクスチャー	撥水性	沈降防止	光輝材配向性	耐ブラックヒールマーク	印刷インキ	木工塗料・パーケットラッカー	コイルコーティング	缶コーティング	メタリック塗料	建築塗料	一般工業用塗料	TXフリー※1	PBTR法対象外
CERAFLOUR 913 / 914 / 915 / 916	PP ワックス /PP ワックス /PP ワックス / HDPE とポリマーの混合物	– / – / – / –	18/24/34/46	160/160/160/135	–	1-10	○	○	○					○	◎						○	○			○	○	○	○
CERAFLOUR 917*	有機ポリマー	–	42	135	–	1-6	○	○	○					○	○						○	○			○	○	○	○
CERAFLOUR 925 N*	変性ポリエチレンワックス	–	6	115	–	0.3-2.0	○	○	○	○		○		○							○	○	○			○	○	○
CERAFLOUR 927 N*	変性ポリエチレンワックス	–	9	125	–	0.5-6.0	◎		◎			○								○	○				○	○	○	○
CERAFLOUR 929 N*	変性ポリエチレンワックス	–	8	115	–	0.1-6.0	○	○	◎			○		○							○		○		○	○	○	○
CERAFLOUR 950	変性高密度ポリエチレンワックス	–	9	135	–	1-10	○	○	◎			◎		○							○				○	○	○	○
CERAFLOUR 970	ポリプロピレンワックス	–	9	160	–	0.5-5.0		○	◎		◎			◎							○				○	○	○	○
CERAFLOUR 988	アマイド変性ポリエチレンワックス	–	6	140	–	1-3	○	○	◎			◎								○	○	○	○			○	○	○
CERAFLOUR 991	ポリエチレンワックス	–	5	115	100	0.3-5		○	○	○		○		◎		○				○	○	○				○	○	○
CERAFLOUR 994	アマイドワックス	–	5	145	–	0.5-2		○						○							○					○	○	○
CERAFLOUR 1000	有機変性ポリマー	–	5	175	–	1-10	○	○	◎			○	○	○							○				○	○	○	○
AQUACER 497*	パラフィンワックス	水 （ノニオン系）	–	60	50	1- 3	○			○			◎			◎				○	○				○		○	○
AQUACER 507	酸化高密度ポリエチレンワックス	水 （アニオン系）	–	130	35	8-30 ※ 2	○			○								○	○		○			○		○	○	–
AQUACER 515	酸化高密度ポリエチレンワックス	水 （ノニオン系）	–	135	35	1-6	○					○	○						◎	○	○				○	○	○	○
AQUACER 526	変性エチレン酢酸ビニルの共重合物ワックスエマルション	水 （アニオン系）	–	105	30	6-10	○											○						○		○	○	–
AQUACER 531	変性ポリエチレンワックス	水 （ノニオン系）	–	130	45	2-5	○			○		○								○	○					○	○	○
AQUACER 537	変性パラフィンワックス	水 （アニオン系）	–	110	30	1.5-5	○			○			○			○					○				○		○	–
AQUACER 539	変性パラフィンワックス	水 （ノニオン系）	–	90	35	1-4	○			○			◎			○			○		○				○	○	○	○
AQUACER 552	酸化高密度ポリエチレンワックス	水 （ノニオン系）	–	130	35	1- 6	○					○							○	○	○				○	○	○	–
AQUACER 593	変性ポリプロピレンワックス	水 （ノニオン系）	–	160	30	3-4	○				○										○					○	○	○
AQUACER 840	酸化高密度ポリエチレンワックス	水 （カチオン系）	–	135	35	5-10	○					○						○	○		○			○	○	○	○	○
AQUACER 1540*	カルナバワックス	水 （アニオン系）	–	85	40	0.5-3	○			○		○										○	○				○	○
AQUACER 1547	酸化高密度ポリエチレンワックス	水 （アニオン系）	–	125	35	1-2	○					○							○		○		○		○	○	○	–
AQUAMAT 208	酸化高密度ポリエチレンワックス	水	–	135	35	1-4	○		○			○		○						○	○				○	○	○	○

（注） この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、 個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。 なお、 一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。　　※ 2　樹脂固形分に対する添加量

機能性ワックス添加剤（詳細な情報はデータシート、技術情報および SDS をご覧下さい。）

BYK

* 印　新製品

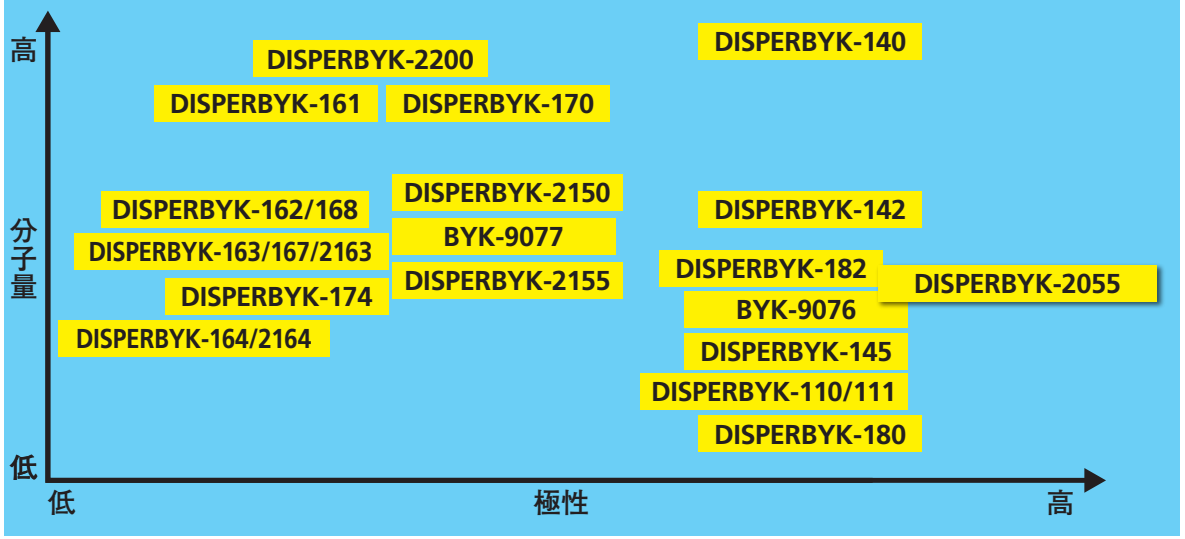
品名	主成分	溶媒	粒径 D50(μm)	融点 (ワックス) (℃)	不揮発分（%）	標準添加量%	適用系		付与される機能											適用分野							備考	
							水系	溶剤系	つや消し	スリップ性	アンチスリップ	スリキズ防止・耐摩耗性	耐ブロッキング性	ソフトフィール	テクスチャー	撥水性	沈降防止	光輝材配向性	耐ブラックヒールマーク	印刷インキ	木工塗料・パーケットラッカー	コイルコーティング	缶コーティング	メタリック塗料	建築塗料	一般工業用塗料	TXフリー※1	PRTR法対象外
AQUAMAT 263	酸化高密度ポリエチレンワックス	水、ブトキシプロパノール	–	130	35	3-6	○		◎			◎	○	◎					○		○				○	○	○	–
AQUAMAT 272 N*	変性ポリエチレンワックス	水	–	125	55	1-6	○		◎	○		◎	○							○	○				○	○	○	○
AQUATIX 8421	変性エチレン酢酸ビニルの共重合物ワックスエマルション	水	–	105	20	5-10	○										○	◎						○		○	○	○
CERACOL 79	カルナバワックス	ジプロピレングリコール モノメチルエーテル	–	90	20	1.5-2.0	○	○		○		○										○	○				○	○
CERACOL 604	カルナバワックス	ブチルグリコール	–	85	11.5	1-8	○	○		○		○											○				○	○
CERACOL 605*	カルナバワックス	ブチルグリコール	2	85	20	1-5	○	○		○		○										○	○				○	○
CERACOL 609 N	ラノリンワックス	ソルベントナフサ、イソプロパノール	3	85	20	1.5-2.0		○		○		○											○				–	–
CERAFAK 103	エチレンアクリル酸共重合物ワックス	酢酸ブチル、キシレン ブタノール	–	110	6	50 ※ 2		○									○	◎						○			–	–
CERAFAK 106	エチレン酢ビ共重合物ワックス	酢酸ブチル、キシレン ブタノール	–	105	6	50 ※ 2		○									○	◎						○			–	–
CERAFAK 110	エチレン酢ビ共重合物ワックス	酢酸ブチル、ブタノール	–	100	6	50 ※ 2		○									○	◎						○			○	○
CERAFAK 111	ポリエチレンワックス	酢酸ブチル	–	110	12.5	6-8		○									○	◎						○			○	○
CERAFAK 117*	変性フィッシャートロプシュワックス	芳香族フリーホワイトスピリット	–	110	25	2-6		○					○			○									○	○	○	○
CERAFAK 127 N	フィッシャートロプシュワックス	ソルベントナフサ	–	120	15	1-13		○		○			○			○							○		○	○	–	–
CERAFAK 140 N	カルナバワックス	イソブタノール、ソルベントナフサ	–	90	15	1.3-6		○		○		○											○				–	○
CERAMAT 250	ポリエチレンワックス	酢酸ブチル	–	120	40	2-5		○	◎			○		○			○				○				○	○	○	○
CERAMAT 258	酸化高密度ポリエチレンワックス ディスパージョン	酢酸ブチル	–	135	17.5	5-12		○	◎			○		○							○				○	○	○	○
CERATIX 8461/8561**	エチレン酢ビ共重合物ワックス	酢酸ブチル、キシレン ブタノール	–	105	4.7	40-70 ※ 2		○									◎	◎						○			–/–	–/–
CERATIX 8463/8563**	エチレン酢ビ／エチレンアクリル酸の共重合物ワックス	酢酸ブチル、キシレン ブタノール	–	110	4.4	40-70 ※ 2		○									◎	◎						○			–/–	–/–
CERATIX 8466/8566**	エチレン酢ビ共重合物ワックス	酢酸ブチル、ブタノール	–	100	4.7	40-70 ※ 2		○									◎	◎						○			0/0	0/0

（注）　この資料は弊社の経験により最善と考えられるものですが、　個々の塗料系については十分テストの上御使用下さるようお願い申し上げます。　なお、　一覧表に記載されていない製品につきましてはお問い合わせ下さい。

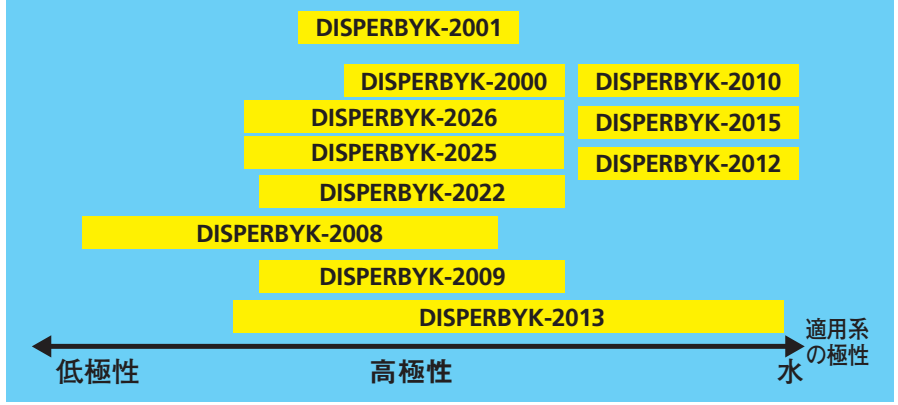
※ 1　製品の配合上はトルエン ・ キシレンを含んでおりません。　　※ 2　樹脂固形分に対する添加量

**NMP フリー品 ・ 新製品

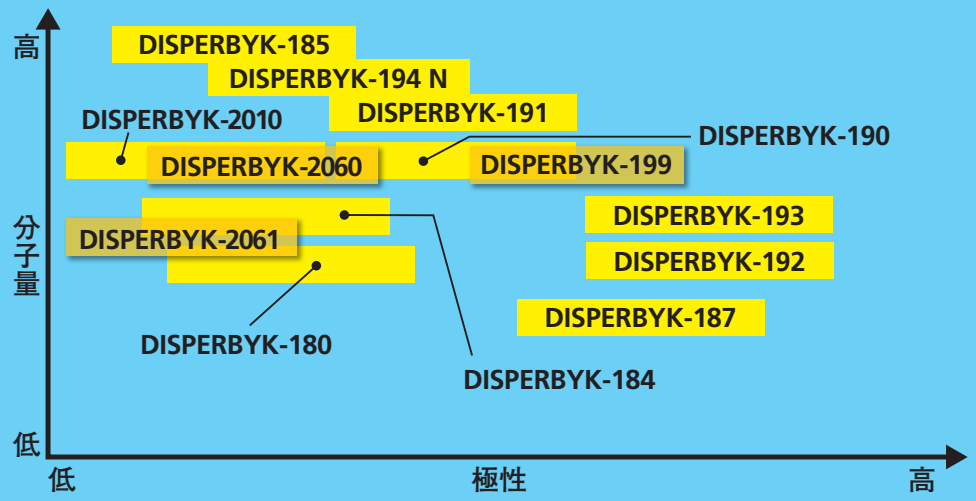
溶剤型塗料用 高分子量湿潤分散剤



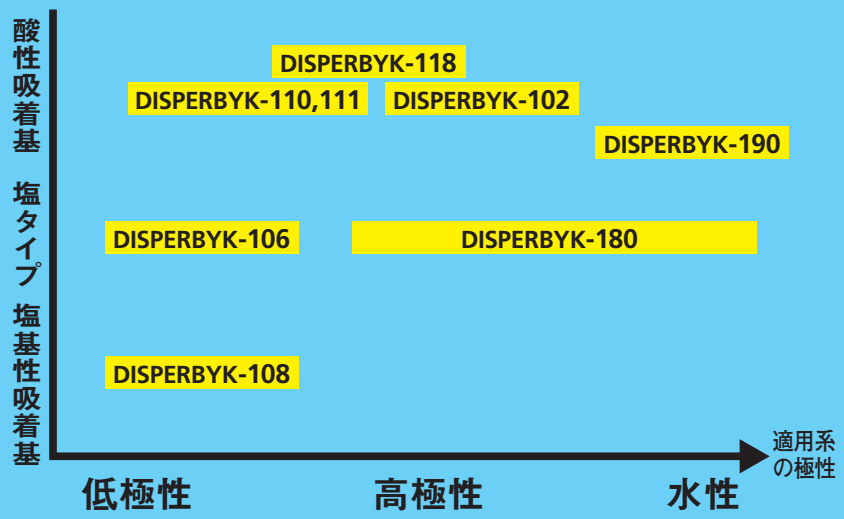
コントロール重合による 高分子量湿潤分散剤



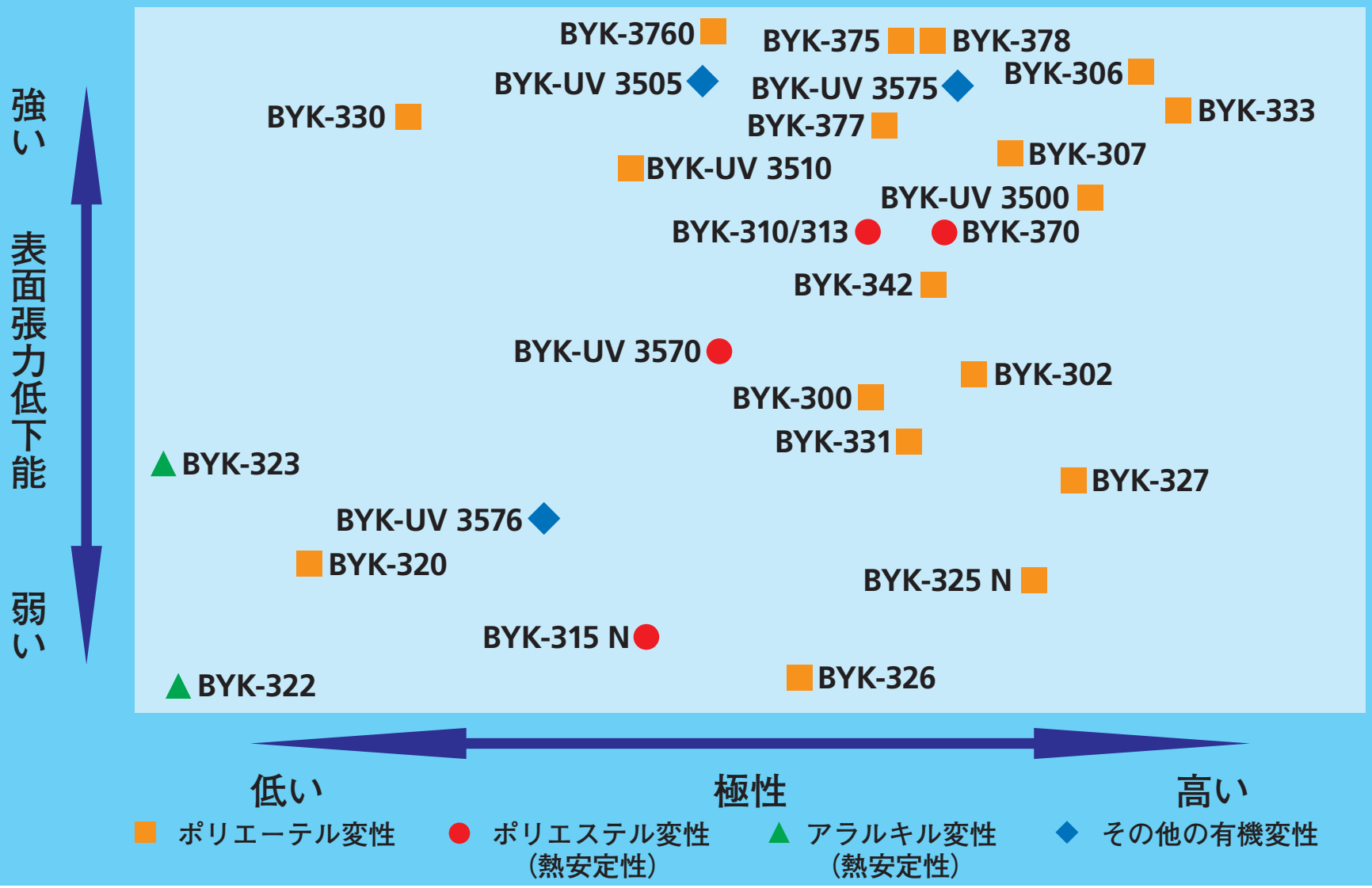
水系塗料用 高分子量湿潤分散剤



二酸化チタン･無機顔料向け

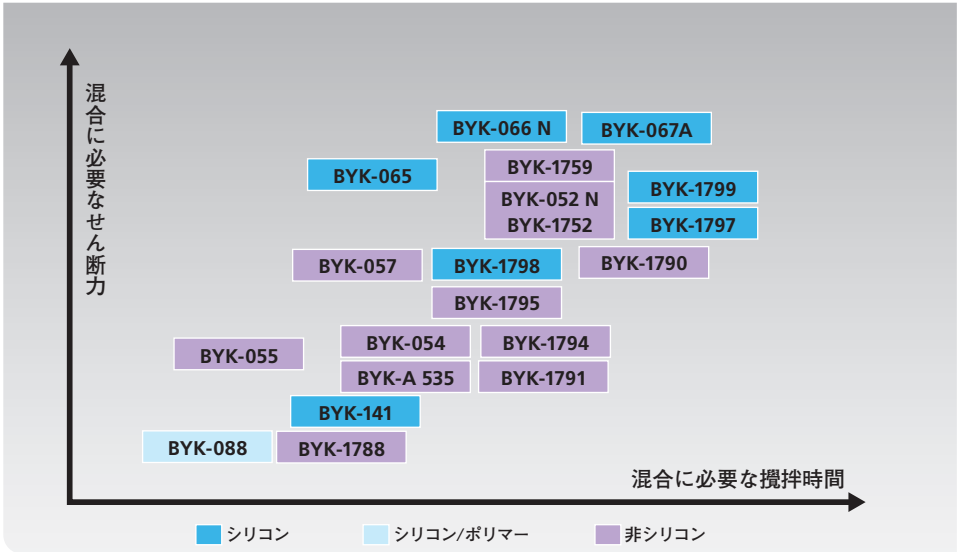


シリコン系表面調整剤ガイド



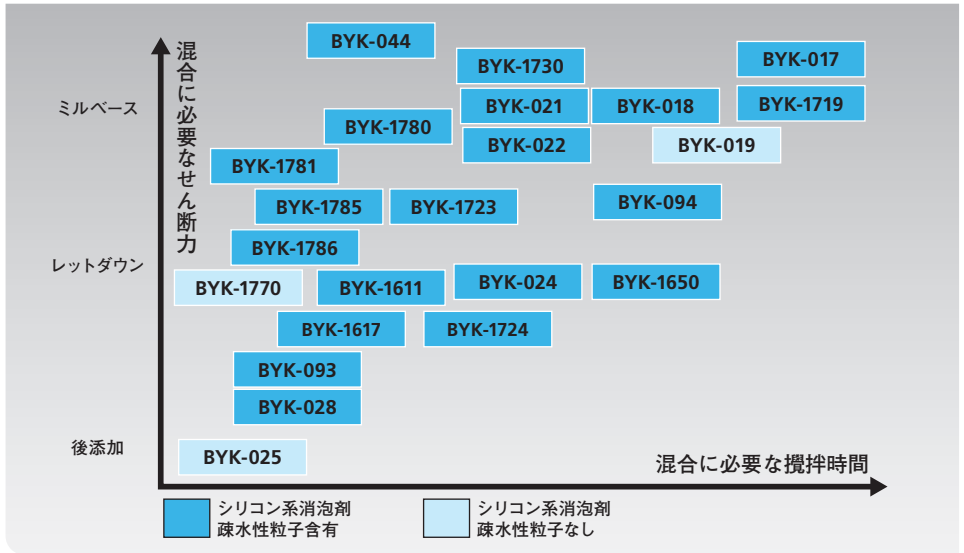
溶剤系および無溶剤系向け消泡剤選択マップ

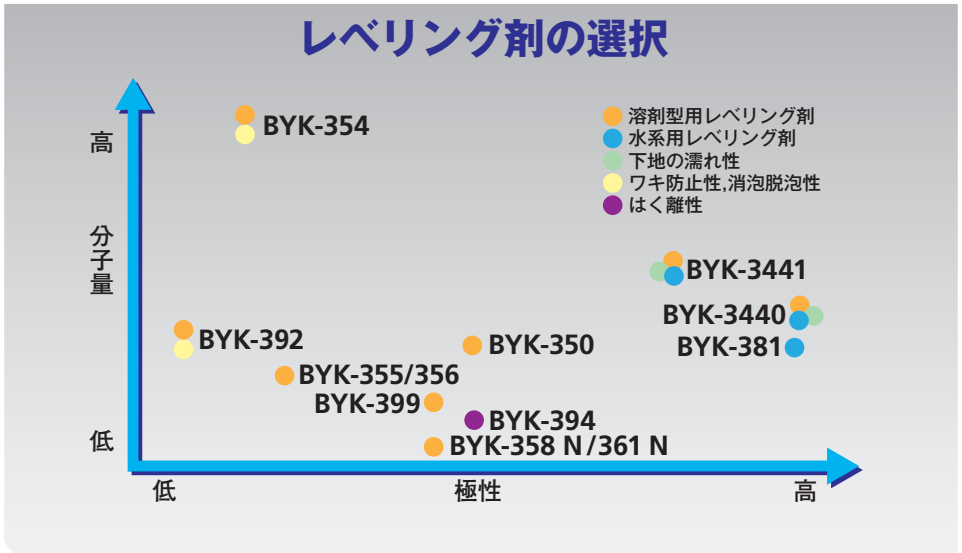
ハジキなどの不具合を避け、最適な消泡効果を得るためには
適切な攪拌シェアと攪拌時間を加えることが重要です。



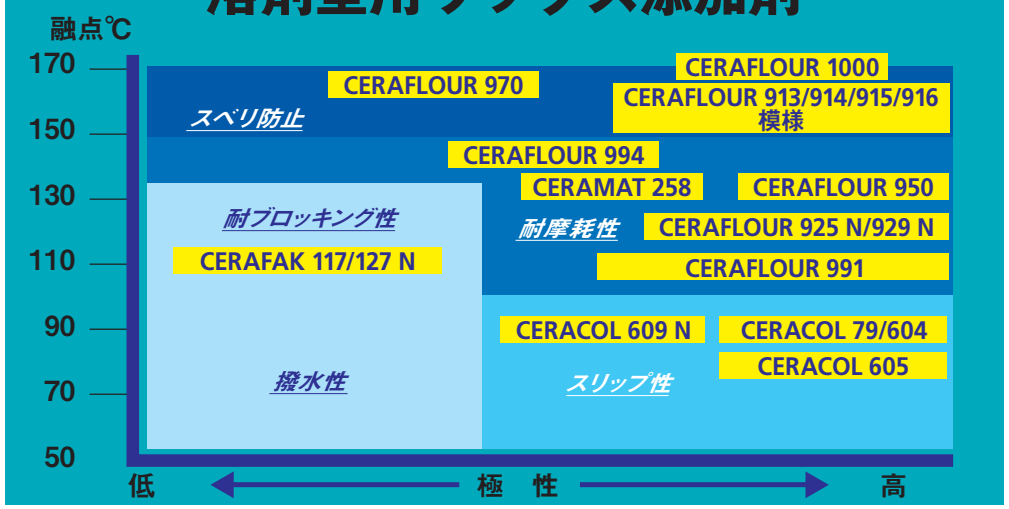
水系向け消泡剤の選択マップ

ハジキなどの不具合を避け、最適な消泡効果を得るためには
適切な攪拌シェアと攪拌時間を加えることが重要です。

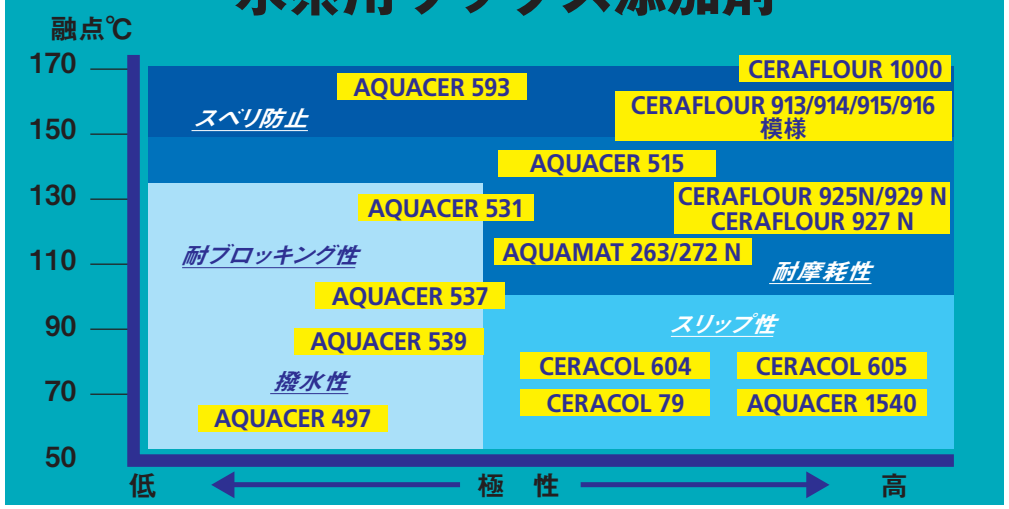




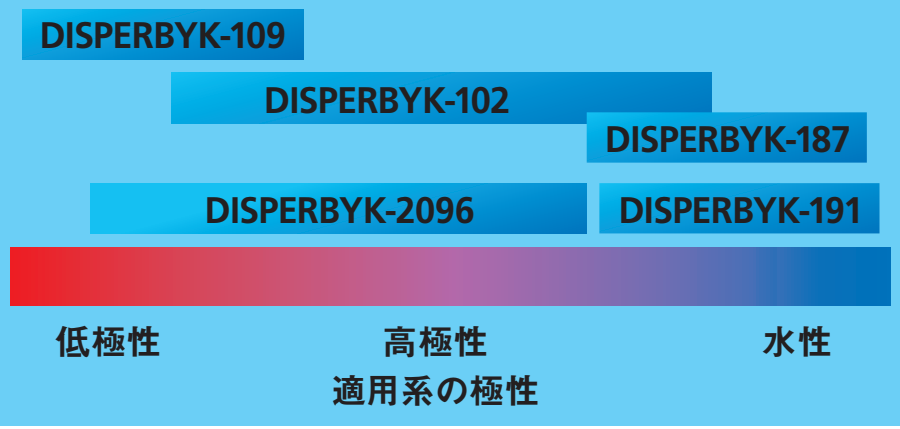
溶剤型用ワックス添加剤



水系用ワックス添加剤



後添加による色受容性向上



幅広い相溶性を持つ湿潤分散剤

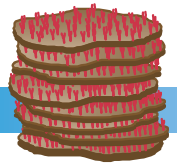
層状無機添加剤の選択

低 極 性			高 極 性	
脂肪族化合物	芳香族炭化水素		エステル、ケトン 、アルコール系	
	低	高	高分子量	低分子量
ミネラルオイル ナフサ イソパラフィン	パラフィン ミネラルスピリッツ	トルエン キシレン スチレン 芳香族ナフサ	酢酸エチル PMA グリコールエーテル エチレングリコール 炭酸プロピレン	エタノール アセトン ブタノール MIBK / MEK

CLAYTONE-40

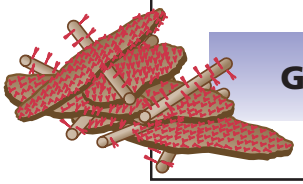
CLAYTONE-HT

CLAYTONE-VZ / MPZ



CLAYTONE-APA

CLAYTONE-AF / HY



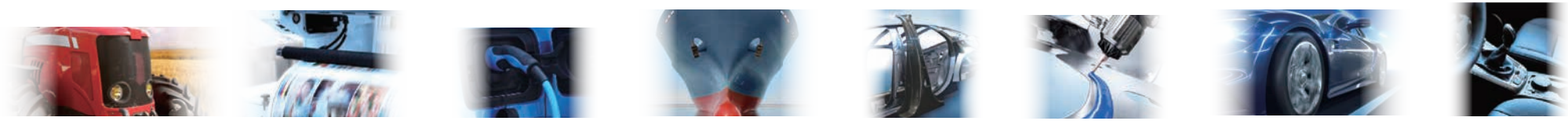
GARAMITE-7303

GARAMITE-1958

GARAMITE-7305

Innovative and Sustainable Products

BYK 社（本社ドイツ）は、様々な適用分野にわたる機能性添加剤および測定機器の
リーディングサプライヤーとして、皆様の製品開発や課題へのソリューションをご提供いたします。



BYK 添加剤の種類と適用分野

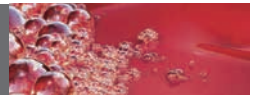
BYK製品グループ

湿潤分散剤

液中の固体粒子を細かく均一な分散状態にし、系の長期安定化に効果をもたらします。

表面調整剤

表面欠陥を防ぎ、最適なスリップ性や洗浄性を付与する等、表面特性や作業性を向上させます。



消泡剤および脱泡剤

泡の発生を防止あるいは破壊する作用で作業性の向上や理想的な表面および製品性能を向上させます。

レオロジー添加剤

流動挙動に作用し、例えば加工性の向上や最適な粘性調整を付与します。

ワックス添加剤

製品の加工性や表面特性を向上させます。

密着性付与剤および カップリング剤

基材とコーティング界面に最適な密着性を付与し、性能の安定化をもたらします。

減粘剤

例えば、PVCプラスチゾルの粘度調整に使用され、製造工程の安全性や製品性能の向上に寄与します。

プロセス添加剤

プラスチック用途に幅広く使用され、作業性の改善や最終製品の性能の向上に役立ちます。

適用分野

塗料・コーティング分野

建築塗料　自動車塗料　工業用塗料　缶コーティング　コイルコーティング
木工および家具用塗料　粉体塗料　防食および船舶塗料　皮革コーティング

プラスチック分野

熱硬化性プラスチック　PVCプラスチゾル　熱可塑性プラスチック
ガラスファイバーサイジング　PVCコンパウンド　機能性マスターバッチ

印刷インキ

液晶ディスプレイ　**高機能セラミックス製品**　**電子部品・電池部材**
金属加工油、潤滑油　**ホームケア製品**　**紙コーティング**
接着剤およびシーラント　**建築・建設材料**　**離型剤製造用の原材料**

BYK 測定機器

BYK-mac i
※多角度測色及びメタリック塗装の光輝感測定機

spectro 2 guide
※ LED 搭載　色彩・蛍光性・光沢測定器

クラウド・ランナー
※業界初！　塗装ムラの数値管理及びトラブルシューティング用評価機

BYK 測定機器
お問い合わせ先：

ドイツ BYK-GARDNER 社総代理店
株式会社 テツタニ
TETSUTANI & CO.,LTD.
ホームページ
測定器の広場　検索

BYKホームページ・製品情報
http://www.byk.com

BYKのホームページ（日本語およびBYK Global Site)から添加剤技術・各製品情報をはじめ、
最新の法令情報などをご覧いただけます。ご活用ください。

BYK添加剤ガイド
http://www.byk.com/jp/additives.html

BYK 添加剤ガイドから当社の添加剤製品ならびに関連情報をご覧いただけます
適用分野または直接製品名から検索していただけます。

BYKホームページで閲覧可能な情報

- SDS（安全データシート　日本語、各国言語法令）
- 製品データシート・技術情報（日本語、各国言語）
- 各国インベントリー登録情報（BRIEF）
- REACH、食品接触用途 関連情報
- 各種技術情報（用途・分野・製品群）
- 添加剤ガイド
- News（最新情報）等

News Japan 【最新情報】
http://www.byk.com/jp/press-events/news.html

・新製品情報
・尼崎ラボ技術レポート
・セミナー・講演レクチャー　等
最新情報を定期的に更新しています。

ACTAL®, ADD-MAX®, ADD-VANCE®, ADJUST®, ADVITROL®, ANTI-TERRA®, AQUACER®, AQUAMAT®, AQUATIX®, BENTOLITE®, BYK®, BYK®-DYNWET®, BYK®-MAX®, BYK®-SILCLEAN®, BYKANOL®, BYKETOL®, BYKJET®, BYKO2BLOCK®, BYKOPLAST®, BYKUMEN®, CARBOBYK®, CERACOL®, CERAFAK®, CERAFLOUR®, CERAMAT®, CERATIX®, CLAYTONE®, CLOISITE®, DISPERBYK®, DISPERPLAST®, FULACOLOR®, FULCAT®, GARAMITE®, GELWHITE®, HORDAMER®, LACTIMON®, LAPONITE®, MINERAL COLLOID®, MINERPOL®, NANOBYK®, OPTIBENT®, OPTIFLO®, OPTIGEL®, PAPERBYK®, PERMONT®, POLYAD®, PRIEX®, PURE THIX®, RECYCLOBLEND®, RECYCLOSSORB®, RECYCLOSTAB®, RHEOBYK®, RHEOCIN®, RHEOTIX®, SCONA®, SILBYK®, TIXOGEL®, VISCOBYK®**および** Y 25® **は、BYK グループ の登録商標です。**

本情報は当社の現在の研究データや技術に基づいています。本情報には当社製品の代表的な性状しか記載しておらず、法的所有権を保証するものではありません。使用に際しては、十分にご試験をされた上でご使用下さい。本情報に記載の製品の使用もしくは情報の使用に際して、特許権を含む個々のケースの対する一切の法的責任は負いかねます。当社もしくは第三者の知的財産権その他の権利にかかわる問題が発生した場合は、当社はその責を負うものではありません。また、これらの権利の実施権の許諾を行うものではありません。記載内容は、改良や開発のため変更することがあります。

この資料は以前に提出したものと差し替えをお願いします。-日本で印刷

ビックケミー・ジャパン株式会社　東　京　03(6457)5501(代)　大　阪　06(4797)1470(代)

URL　http://www.byk.com/jp

販　売　店　株式会社　テツタニ　大　阪　06(6941)9071(代)　東　京　03(3295)0838(代)

URL　http://www.tetsutani.co.jp